



**機動戦士ガンダム
MS大図鑑
PART.6**

【デラース紛争編上】

Illustration by Yuji Kaida

GUNDAM WAR HISTORY

【ガンダム戦史】



1. 最後の業火の中で

「ア・バオア・クー」

宇宙世紀0079、ジオン公国のコロニー落とし作戦に始まる軌道上をも含めた全面戦争は、すでに1年の長きに及んでいた。しかし、国力で劣るジオン軍は、連邦軍に徐々に押され、ついに自国への最終関門である宇宙要塞ア・バオア・クーでの最終決戦を余儀なくされるところまで追い込まれてしまう。総帥ギレン・ザビの戦死もあり、指揮系統が乱れジオン軍は崩壊していく。その乱戦の中で、ひとりの兵士がまだ自国の勝利を信じて阿修羅のごとく戦い続けていた。彼の名は、アナベル・ガトー。ジオン宇宙攻撃軍の中であって勇名を馳

【第 6 章

デラーズ紛争】

宇宙要塞ア・ハオア・クーは、1年戦争最後の激戦地となった。必勝を期し、ジオン軍は開発中の新兵器すら戦場に投入したが、劣勢を挽回するには至らなかった。



せ、宇宙攻撃軍の拠点である宇宙要塞ソロモンを攻撃する連邦軍兵士から、ソロモンの悪夢と呼ばれ恐れられていた。しかし、彼の戦いもやがて終わるときがきた。ギレン総帥の死が全軍に知らされ、ジオン軍の敗北が決定的となったのだ。連邦軍の捕虜になることを潔しとせず、ガトーは敗北に殉ずる道を選ぶ。そんなガトーを止めたのは彼の直属の上司であるエギーユ・デラーズ大佐だった。デラーズ大佐は、ここで死ぬことを選ぶよりも生き残ってジオンをいつの日にか再興させることを目指せと、ガトーを諭す。デラーズの言葉を受けガトーは脱出を決意する。勝利にわき立つ連邦軍の喚起の声の中、一隻の戦艦が戦闘空域から離脱していった。

GUNDAM 【ガンダム戦史】WAR HISTORY



2. 新型機強奪

～エンタツ～

宇宙世紀0083、悪夢のような1年戦争から3年が過ぎていた。世界は、平穏を取り戻したかに見えた。だが、その陰で新たな戦火の火種がくすぶり始めていた。オーストラリア、コロニー落とし作戦により大陸の形まで変わってしまった土地である。現在、ここにある連邦軍のトリントン基地では機動兵器の開発とテストが行なわれている。今、この基地に新型の機動兵器がテストのために持ち込まれて来た。RX-78GP01、RX-78GP02A、1年戦争時に連邦軍で最大の戦果を上げたMS、ガンダムの後継機である。特にGP02A

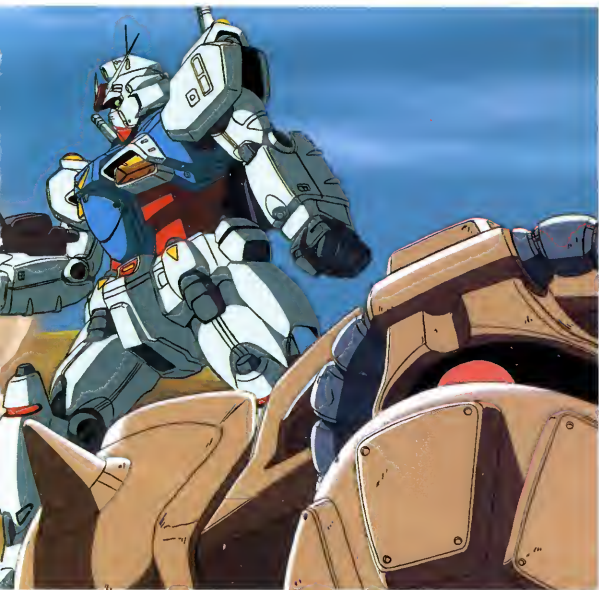
ガンダムタイプ同士のMSが激突する。1年戦争中には想像もできなかったこの光景は、この後の時代を暗示していたのではないだろうか。



は、核装備を目的として開発された機体である。トリントンに來た目的は、この基地に保管されている核を装備させるためである。これは核兵器を禁止した南極条約に違反する行為だ。事は、極秘裏に進めなければならなかった。だが、その機体に目をつけそれを奪取しようと計画する一団があった。かつてのジオン軍兵士であり、現在はジオン再興を目指すデラズ・フリートの一員となったアナベル・ガトーに率いられた一団である。スパイに導かれて連邦軍基地に入り込んだガトーは、まんまとGPO2Aを盗み出す。一気に基地を離脱しようとするガトーの前に、テストパイロット、コウ・ウラキの駆るGPO1が立ちふさがった。

GUNDAM WAR HISTORY

【ガンダム戦史】



3. 熱砂の攻防戦

キンバライト

地球に散らばるジオン軍の残党の協力を得て、ガトーはGPO2Aの奪取に成功する一方、新型ガンダムと同時に就航した強襲揚陸艦アルビオンはGPO2A奪還の任を受け、ガトーのあとを追う。その中には、正式にGPO1のハイロットとして認められたコウ・ウラキの姿もあった。ガトーは、東アフリカにあるキンバライト鉱山基地を目指していた。ダイアモンド鉱山跡を改造したこの基地には、旧ジオン軍の所有する最後のHLVが残っていたのだ。このHLVを使用してガトーは、GPO2Aを軌道上にあるデラーズ・フリートの本拠地へ持

1年戦争時にはほぼ全大陸がジオンの制圧下にあったアフリカ大陸では、地理的条件もあり戦後もジオンの残党が長期間ゲリラ活動が続いていた。



ち帰ろうというのだ。しかし、発進準備を整える前に基地はアルビオンに発見されてしまう。すかさずアルビオンのMS隊が攻撃に向かう。キンバライト基地の司令官であるビッター少将は、ジオン再興を賭けた「星の屑」作戦の成功を願い、自らMSを駆って迎撃に出た。それは、帰還することを期さない死を覚悟した出撃だった。その猛攻に押されアルビオンのMS隊は、決定的な攻撃をできずにいた。激戦の中、HLVの発進準備は整った。青空に軌跡を残してHLVは飛び立っていく。今一步のところで再びGP02Aの奪還は果たせなかった。砂漠には、戦いの虚しさそのままに撃破されたジオン軍のMSの残骸が、天を仰いで転がっていた。

GUNDAM WAR HISTORY

【ガンダム戦史】



4. 軌道上の死闘

イン オービット

ガトーは宇宙へと逃れ、デラズ・フリートの艦船との合流を果たした。一方、アルビオンもガトーを追って軌道上に上がっていた。しかし、GPOIは基本的に地上戦仕様に調整されているため、宇宙戦には参加できそうもなかった。宇宙戦仕様にするためには、月にあるアナハイムで装備を換装しなくてはならない。補給も兼ね、アルビオンは月へと進路を取る。その前に、新たにデラズ・フリートに参加したシーマ・ガラハウ中佐に率いられた艦隊が現われた。自らもMSに搭乗したシーマは、瞬時にアルビオンの僚艦2隻を撃沈する。す

たとえ、ガンダムタイプのMSといえど宇宙用に調整されていなければ、宇宙空間ではまともに動くこともできず、敵MSの格好の標的にされてしまう。



ぐさま、アルビオンのMS隊が迎撃に向かうが、その間にアルビオンにもMS隊が迫る。迎撃を命じられたコウはGP-01で出撃する。出撃前にGP-01はこのままでも宇宙戦に耐えうるとアナハイムのエンジニアのニナといい争いをしていたのだ。意地をはってGP-01で出たコウだったが、やはり宇宙空間では動きが鈍くなっていた。強力な火力で1機は墜したが、その後は敵MSの標的になってしまう。戦いの最中、エギーユによる連邦に対する宣戦布告がすべての通信回線を通し高らかに告げられた。戦いは一步一步凄惨の度合いを高めていく。上官のバニング大尉の助けもあり、機体をぼろぼろにしながらもコウはどうにか帰艦を果たした。

GUNDAM 【ガンダム戦史】WAR HISTORY



5. 蒼く輝く炎で

フォーン・ブラウン

アルビオンは、月のフォーン・ブラウン市に入港する。ただちに、GPOIの改修が開始された。だが、パイロットとしての自信をなくしてしまったコウは町へとさまよい出る。彷徨の中、コウはケリーという男と出会う。ケリーは元ジオン軍のパイロットだが、戦争で片腕をなくし、今はジャンク屋を営んでいる。しかし、ケリーは復帰することをあきらめず、終戦の混乱の間に秘匿してあったMAをひとりで修理していた。敵、味方という確執を越えケリーにパイロットとしての共感を覚えたコウは、MAの修理を手伝う。その作業の中、コウ自

1年戦争の怨念を凝集するかのよう
に、ガンダムに迫るMAヴァル
ヴァロ。戦後3年を過ぎ、しかし
まだ戦士たちの心の中では戦争は
終わっていないのか!?

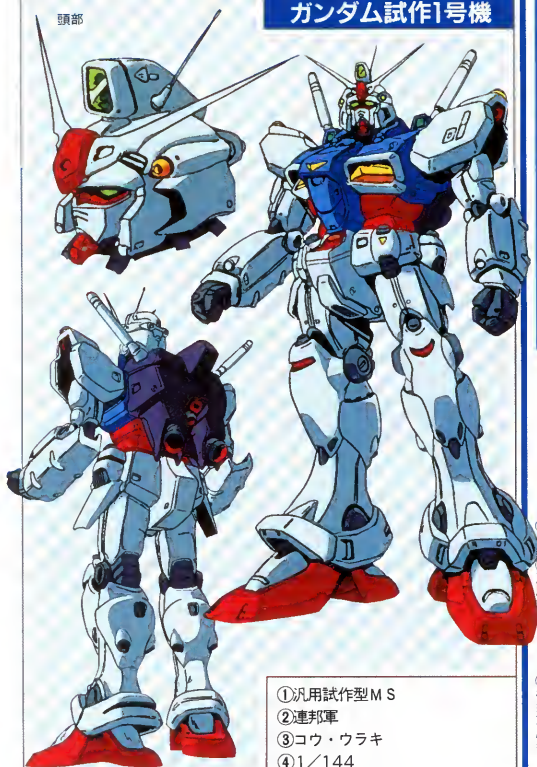


身もパイロットとしての自覚
を取り戻していく。修理が終
わり次にケリーと会う時は戦
場だと覚悟を決めコウはアル
ビオンへと戻る。そのコウの
前には、改修の完了したGP
O1 Fbがあった。そして、
コウとケリーの戦いは意外に
早くやってくる。シーマの部
下の独断により戦士として見
限られたと思ったケリーは、
GPO1を倒すことができれば
実力を認められると考え、
MAを駆って出撃する。コウ
は、GPO1を駆りMAと
対峙した。戦いの場では個人
の想いよりも戦士としての立
場と意地が優先する。MS対
MAの激戦が始まる。一瞬の
差でコウは、苦い勝利を治め
た。そして、アルビオンは月
を飛び立つ。デラーズの本隊
の待つソロモン海を目指して

RX-78GP01

ガンダム試作1号機

頭部

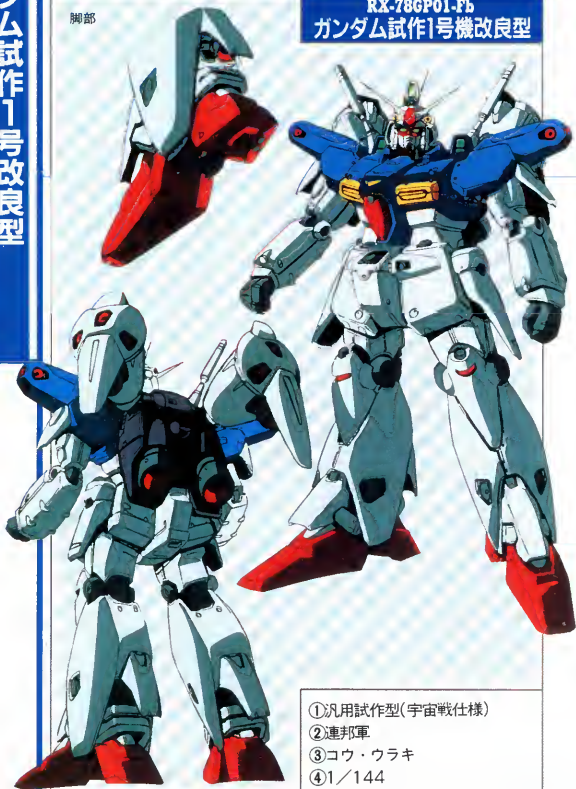


- ①汎用試作型MS
- ②連邦軍
- ③コウ・ウラキ
- ④1/144

①分類②所属③パイロット④模型対応表／備考

脚部

RX-78GP01-Fb
ガンダム試作1号機改良型



- ①汎用試作型(宇宙戦仕様)
- ②連邦軍
- ③コウ・ウラキ
- ④1/144

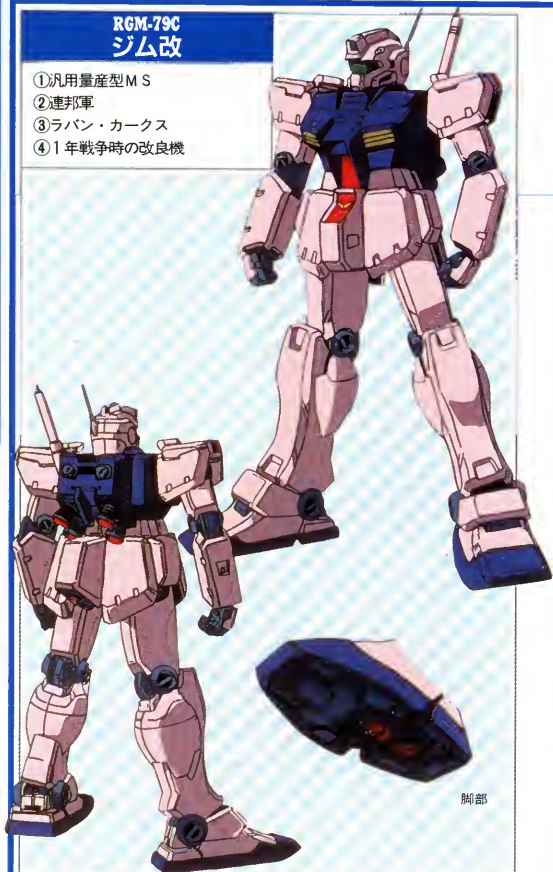
RX-78GP02
ガンダム
試作2号機

頭部

- 
- ①特殊攻撃用
試作MS
 - ②連邦軍→デラー
ズ・フリート
 - ③アナベル・ガトー
 - ④1/144

RGM-79C ジム改

- ①汎用量産型MS
- ②連邦軍
- ③ラバン・カークス
- ④1年戦争時の改良機



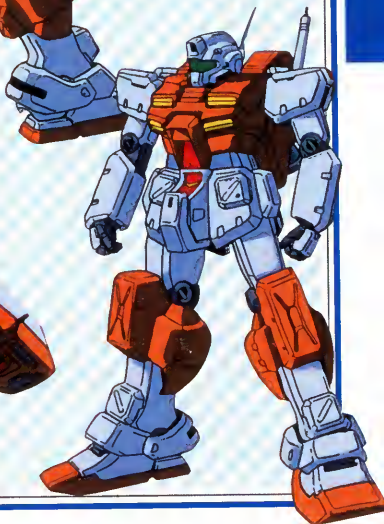
脚部

RGM-79
パワード・ジム

- ①実験運用試作型MS
- ②連邦軍
- ③ディック・アレン
- ④ジムを元にしたテスト用の機体



脚部



RGM-79N ジム・カスタム

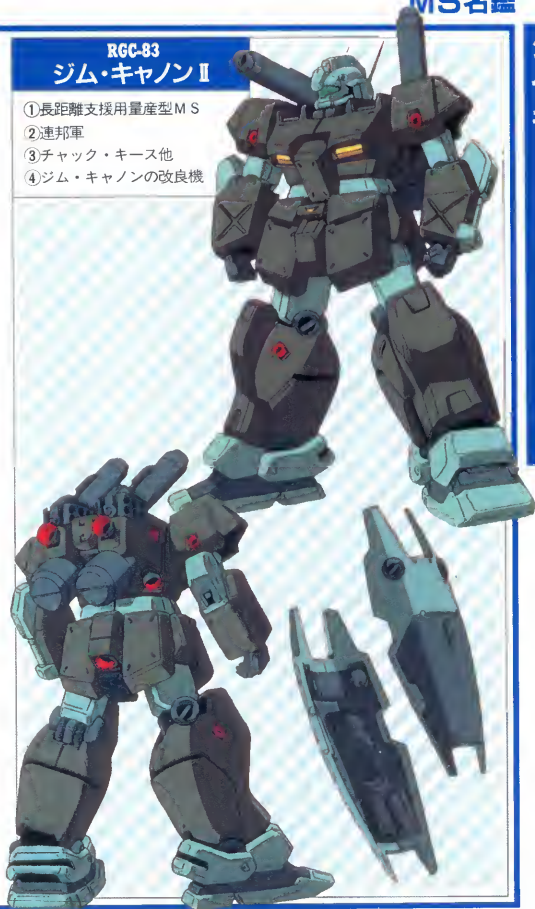
- ①汎用量産型MS
- ③連邦軍
- ③サウス・バニング他
- ④ジムを元に改良した量産機

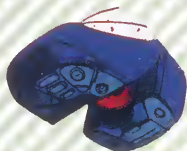
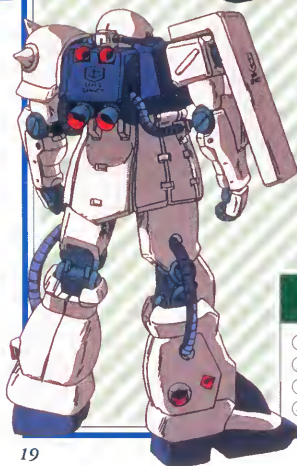
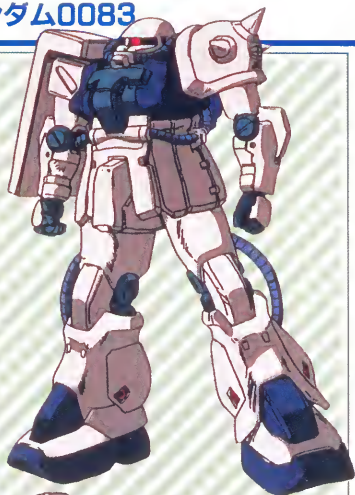
脚部



RGC-83
ジム・キャノンⅡ

- ①長距離支援用量産型MS
- ②連邦軍
- ③チャック・キース他
- ④ジム・キャノンの改良機





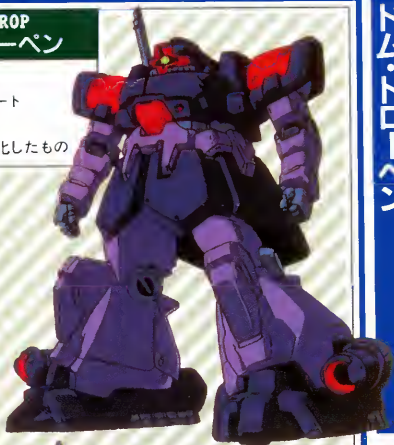
脚部

MS-06-F2 ザクⅡ

- ①汎用量産型MS
- ②連邦軍／デラズ・フリート
- ③ノイエン・ビッター他
- ④1年戦争一番の普及機

**MS-09F/TROP
ドム・トロペン**

- ①汎用量産型MS
- ②デラズ・フリート
- ③ゲイリー他
- ④ホバー能力を強化したもの



脚部

- ①長距離攻撃用試作型MS
- ②デラズ・フリート
- ③ボブ
- ④巨大なカノン砲を備える

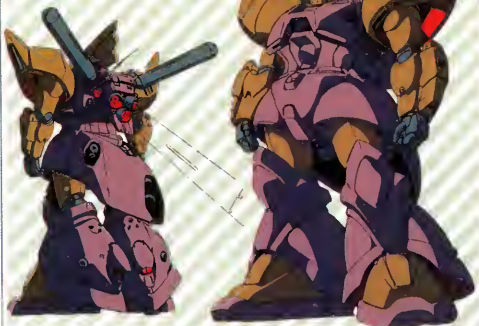
YMS-16M
ザメル



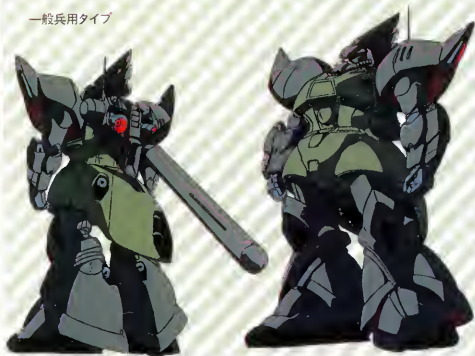
- ①汎用量産型(指揮官用)MS
- ②デラーズ・フリート
- ③シーマ・ガラハウ他
- ④ゲルググの強化改良型

MS-14F(Fs)
ゲルググM

指揮官用FSタイプ



一般兵用タイプ



- ①宇宙用量産型MS
- ②デラズ・フリート
- ③——
- ④宇宙戦専用の機体

MS-21C ドラッツェ



ビームガン

シールド



メカ名鑑

コアファイターⅡ／サラミス級

FF-XI
コアファイターⅡ



- ①小型特殊戦闘機
- ②連邦軍
- ③コア・ブロックに変形し、GP01の操縦システムとなる。戦闘機時にビームサーベルをビームガンとして使用。

FF-XI-Fb
コアファイターⅡ-Fb



- ①小型特殊戦闘機
- ②連邦軍
- ③コア・ブロックに変形し、GP01の操縦システムとなる。機体の改良とともに換装され、同様に宇宙戦仕様となった。

連邦軍強襲揚陸艦
アルビオン



- ①強襲揚陸艦
- ②連邦軍
- ③新型ガンダムとともに就航したペガサス級の新型艦。数々の新装備を搭載。新型ガンダムのテスト運用の母艦となる予定だった。

連邦軍宇宙巡洋艦
サラミス級



- ①巡洋艦
- ②連邦軍
- ③1年戦争時に使用されていたサラミス級巡洋艦を改良したもの。特に、火力関係が強化されている。旧型に替わり実戦配備中。

①分類②所属③備考

テラース軍宇宙巡洋艦

ムサイ級



①軽巡洋艦

②デラーズ・フリート

③1年戦争後期に生産されたムサイ級の巡洋艦。前期型に比べ火力を中心とした強化がされている。戦争時はほとんど参戦していない。

テラース軍宇宙巡洋艦

ムサイ級シーマ艦隊仕様



①軽巡洋艦

②デラーズ・フリート

③シーマ艦隊が使用している後期生産型のムサイ級巡洋艦。艦隊色が異なる以外は、特別な仕様の違いはない。

テラース軍宇宙機動巡洋艦

サンジバル級リリー・マルレーン



①機動巡洋艦

②デラーズ・フリート

③シーマ艦隊で旗艦として使用されているサンジバル級。火力とMSの発着方法などに関して、若干の変更が施されている。

グワジン級宇宙戦艦

グワデン



①戦艦

②デラーズ・フリート

③エギーユ・デラーズ自ら乗り組み、デラーズ・フリートの総旗艦となるグワジン級の戦艦。艦橋は全部隊の指令所を兼ねる。

キ ャ ラ 名 鑑 ●

コウ・ウラキ



- ①連邦軍
- ②少尉
- ③堀川 亮

ニナ・パーフルトン



- ①アナハイム
- ②システムエンジニア
- ③佐久間レイ

①所属②身分③声優

コウ・ウラキ
ニナ・パーフルトン

モーラ・バシット



- ①連邦軍
- ②整備士長
- ③伊倉一恵

チャック・キース



- ①連邦軍
- ②少尉
- ③山田義曜

サウス・バニング



- ①連邦軍
- ②大尉
- ③菅原正志

エイパー・シナプス



- ①連邦軍
- ②大佐
- ③大塚周夫

チャック・キース、サウス・バニング

アルファ・A・バイト



- ①連邦軍
- ②中尉
- ③戸谷公次

ベルナルド・モンシア



- ①連邦軍
- ②中尉
- ③茶 風林

イワン・パサロフ



- ①連邦軍
- ②大尉
- ③仲本隆司・岸野一彦

チャップ・アデル



- ①連邦軍
- ②中尉
- ③幹本雅之

ベルナルド・モンシア・イワン・パサロフ

ウィリアム・モリス



- ①連邦軍
- ②少尉
- ③巻島直樹

ジャクリーヌ・シモン



- ①連邦軍
- ②軍曹
- ③荒木香恵

ピーター・スコット



- ①連邦軍
- ②軍曹
- ③菊池正美

ラバン・カークス



- ①連邦軍
- ②少尉
- ③森川智之

ディック・アレン



- ①連邦軍
- ②中尉
- ③秋本羊介・苫見 純

アクラム・ハリタ



- ①連邦軍
- ②中尉
- ③田原アルノ

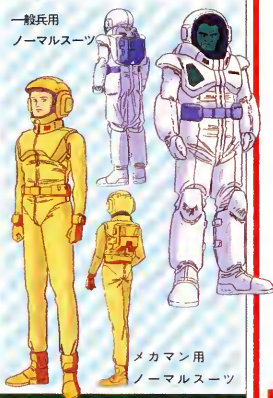
ニック・オービル



- ①アナハイム
- ②技術者
- ③塩谷 翼

連邦軍ノーマルスーツ

一般兵用
ノーマルスーツ



メカマン用
ノーマルスーツ

エギーユ・デラーズ アナベル・ガトー



- ①デラーズ・フリート
- ②中将
- ③小林清志



ノーマルスーツ

- ①デラーズ・フリート
- ②少佐
- ③大塚明夫

連邦軍ノーマルスーツ、エギーユ・デラーズ

シーマ・ガラハウ



ノーマルスーツ



- ①デラーズ・フリート
- ②中佐
- ③真柴摩利

デトロフ・コッセル ウィリィ・グラドール



- ①デラーズ・フリート
- ②大尉
- ③渡部 猛

- ①デラーズ・フリート
- ②少佐
- ③稲葉 実

ゲイリー アダムスキー

ボブ



①デラース・フリート

②少尉

③田口 昂

①デラース・フリート

②少尉

③田原アルノ

①デラース・フリート

②中尉

③佐藤正浩

デラース軍制服

デラース軍ノーマルスーツ

佐官

尉官



一般兵



メカマン用
ノーマルスーツ



一般用
ノーマルスーツ



ボブ・デラース軍制服



MS開発史

M.S.Development Histry

●0080年代初頭は、MSの発展と分化の、まさに過渡期にあたる。この時期に確立された技術があつてはじめて、MSはその地位を確固としたものとし、また、第二世代、第三世代と進化していくことになる。

一年戦争後の連邦軍製MS

0083年当時、連邦軍のMS開発は基本資料の整理を終え、新たな模索の時期に入ろうとしていた。公国軍製MSのアグレッサ機としての運用などを通して技術の遅れを取り戻し、ジム系MSのパリエーションもある程度の到達点に達していた。ことに公共、民間施設を問わず、ジオン系の技術者を動員したことによる効果には目覚ましいものがあつた。そしてこの時期、戦略をもとりにんだMSの開発が極秘裡に提案された。それが「ガンダム開発計画」である。この計画に基づいて数機のガンダムがジオン系の技術者をも多く抱えるアナハイム・エレクトロニクス（以

下AE）に依頼する形で製作されることになった。これは、連邦軍に独自で新型MSを製造する余力が無かつたこともあるが、主に連邦内部での部署の整理が立ち遅れていたため、開発の体制が整っていたAEに開発を委託することにしたのだ。

RX-78GPOI ガンダム試作1号機及びGPOI-Fb ガンダム試作1号機フルバーニアンは、RX-78-2 ガンダムの高い汎用性をさらに進めるために、重力下装備と無重力装備を換装することで対応している。RX-78GPO2A ガンダム試作2号機は、最強の機動兵器であるMSに最強の戦略兵器を

組み込んだもので、基本的にジオン系の技術をベースに作られており、MS-09リック・ドムに装備されていたジャイアント・バズや、一週間戦争時にMS-06ザクIIによって使用された核バズーカなどを運用構想の基本に置いている。RGM-79C ジム改は、ジムの後期生産型を設計ベースとして作られた機体で、バックパックの出力向上や、陸戦用に対応した改修がなされている。RGM-79 パワード・ジムは、AEにおける新型MS開発のためのスペックデータ収集用に各種機能の出力、能力向上が施された機体である。各所に追加で設けられているユニットは装甲というわけではなく、あくまでも出力

向上に伴って設けられたプロペラントタンクなどである。RGM-79N ジム・カスタムは量産機を改造したものでエース・パイロットなどにあえられる機体である。ジェネレータ出力の向上を始め、各種センサーなども換装されており、後にこの機体が設計ベースとなった量産機も作られるほどのスペックを達成している。RGC-83 ジム・キャノンIIは、RX-77Dガンキャノン量産型のコンセプトを持ち込んだ機体で、中距離支援用の重量級MSとなっている。センサー類はジム・カスタムと同等のものを搭載しており、装甲もRX-78NT1 ガンダムアレックスに採用されたチョバム・アーマーの構造を参考にしている。

MS Development History



RX-78GP01 ガンダム
試作1号機

RX-78GP01-Fb
ガンダム試作1号機
フルバーニアン

RX-78GP02A ガンダム
試作2号機

RGM-79C ジム改

RGM-79 パワードジム

RGM-79N
ジム・カスタム

RGC-83
ジムキャノンII

デラーズ・フリー・ドム

0083年当時、連邦軍以外のMS開発の状況はほとんど判明していない。AEが公国最大の軍事メーカーであったジオニック社を吸収合併したため、公国系の設計コンセプトも連邦軍のものとなってしまった感がある。

デラーズ・フリードムが運用していた機体は、そのほとんどが一年戦争前後に開発されたものであつて、機体そのものの設計などは流用されているものが多い。MS-06F2ザクIIは、一年戦争末期に生産された第二期生産型に準じた設計の機体で、多くは実戦配備あるいはロールアウト寸前で連邦軍に接収されてしまった。このヴァージョンは、

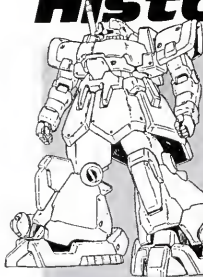
デラーズ・フリードムやアフリカ方面でゲリラ活動が続けていたジオン残党にも多く見られ、部品生産そのものは相当数に上っており、公国が本土決戦に踏み切った場合の潜在的脅威を連邦に思い知らせることとなった。MS-09F

TROP ドム・トローパーは、MS-09R リック・ドムなどの改修設計機であるMS-09F ドム・フュンフの機体をもとに、MS-09ドムの地上での実働データなどを踏まえて設計しなおした機体で、熱核ジェットの内テーク周りの構造などが抜本的に設計し直されており、配備された地域に、より適応した性能を獲得することに成功し

ている。YMS-16M ザメルは、いわゆるドム以降ガルバルディ以前に試作された機体で、中、長距離支援用機の構想を極限まで追及した機体である。その移動はホバー走行で行なわれるようになっており、ほとんど移動砲台としか呼べないMSとなっている。MS-14F ゲルググM(マリーネ)は、MS-14B、MS-14JGなどをはじめとするゲルググタイプの高機動派生型の一機種で、さらにそれをチューンナップしたMS-14Fs シーマ専用ゲルググMほどの性能は獲得できていないが、一年戦争当時のRX-78-2 ガンダムをしのぐほどの潜在能力の獲得に成功している。MS-21C ドラツツェは、デラーズ・フリー

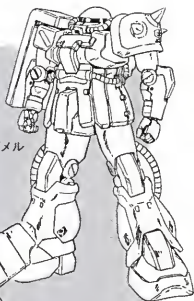
ドムが独自に開発、量産した機体で、MS-06F2のボディに、他の戦闘艇の部品などを流用して組み上げてある。地上戦にはまったく対応していないが、暗礁宙域などの宇宙空間を拠点とするデラーズ・フリードムにおいては必要十分な戦力となっている。MA-06 ヴァル・ヴァロは、一年戦争末期に試作されたMA(モビルアーマー)で、出撃前に終戦がおとずれ、稼動することなく秘匿されていた機体である。大口径のメガ粒子砲と、MAX-01アッザムに装備されていたリダーと同等の機能を持つプラズマ・リダーを備え、対MS戦では圧倒的な威力を誇る。

MS Development History

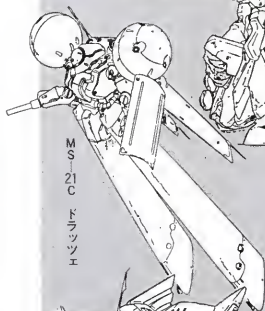


MS-06F2 ザクII

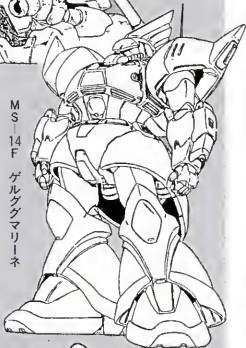
MS-09F/TROP
ドム・トローベン



YMS-16M ザメル



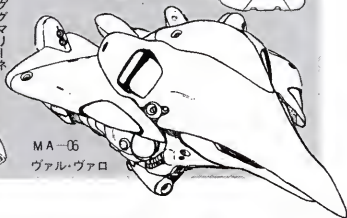
MS-21C
ドラッツェ



MS-14F
ゲルググマリナー



MS-15F
シーマ専用ゲルググマリナー



MA-06
ヴァル・ヴァロ

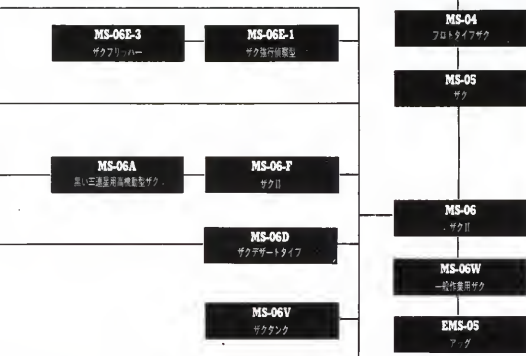
MS開発と変種の発生

一年戦争において地球連邦軍、公国軍両陣営の主力兵器となったMSは、基本的な技術や設計をはじめ、様々なバリエーションが当時すでに製造されていた。それは前線の兵士たちの必要から生まれたものや、発注者の要求から生まれたものなど多岐にわたるが、基本的にはそれらの要求に充分に耐えることができる潜在能力がMSにはあったのだということができる。戦後のMSは、連邦軍と公国軍の技術が融合し、新たな段階を迎えた。この時期の試行錯誤が、次世代のMSを産み出す土壌となっている。

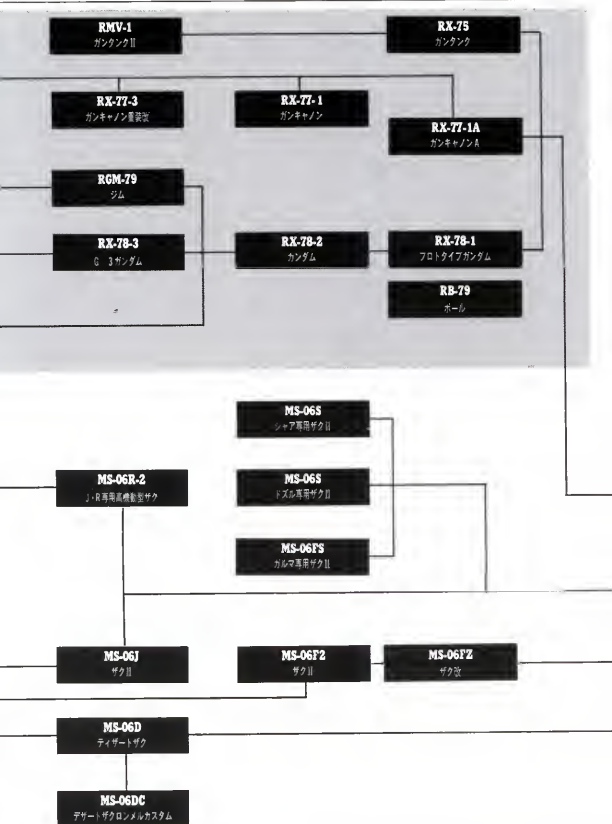
連邦軍は、MSそのものは公国軍ほどの機種をそろえて

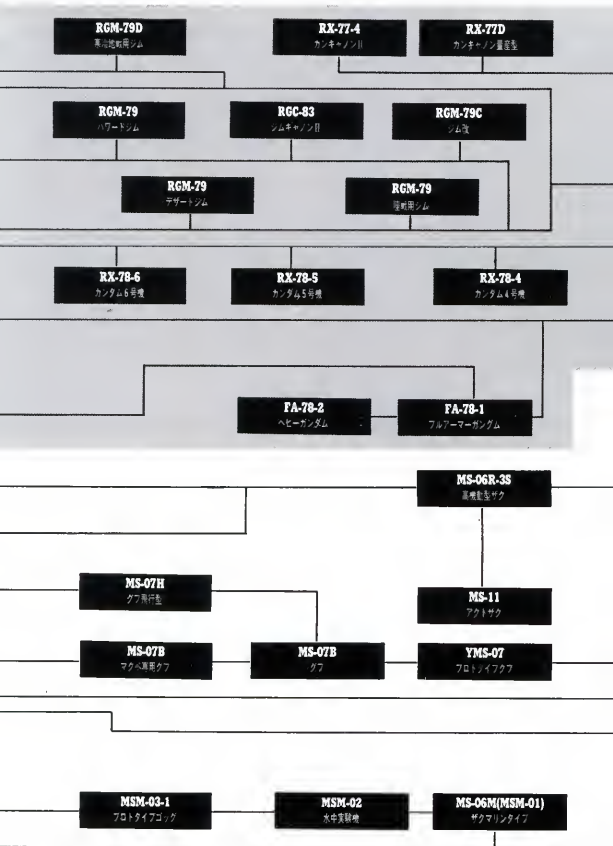
はいない。MSの開発に遅れをとっていたことが主な要因ではあるが、ガンダムという超高性能機種を開発できたことにより、その量産型であるジムを大量に製造することで戦力差を埋めることができたからだ。そのため、いわゆるMSバリエーションもジムの改造、改修機がほとんどである。この状況は一年戦争後でもほとんど変わらず、補給や改変に応じて各部隊などに配備される機種は、ジム系のMSがほとんどであった。また、新機種や新技術の開発、試験、または訓練などのアグレッサー（仮想敵機）として、旧公国軍から接収した機体を改装、改修して使用している。

この図はあくまで参考のためのものです。前後のつながりは必ずしも時間的な推移とは一致しません。また、そのつながりにしても機体流用や設計流用など様々な理由によるものです。

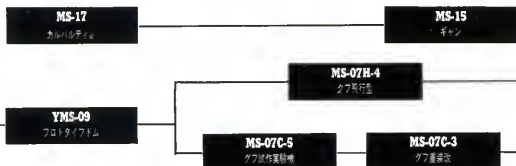
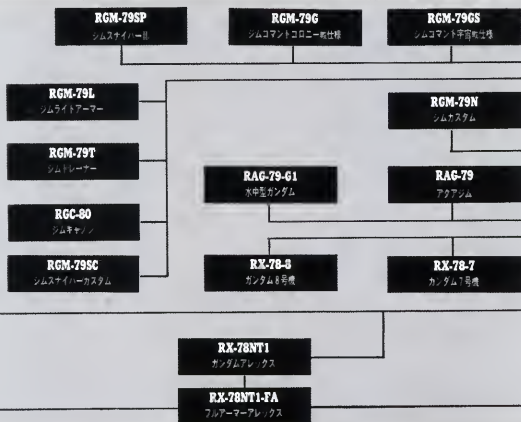


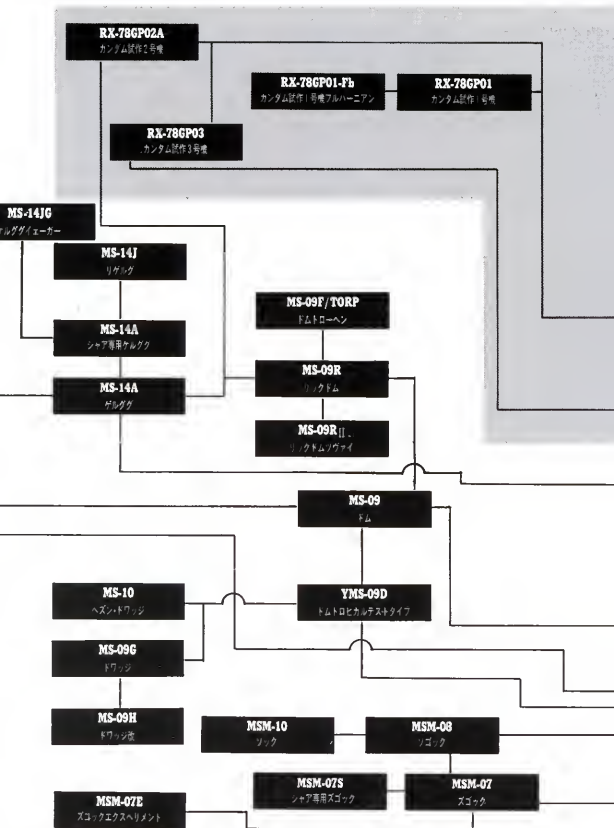
MS Development History



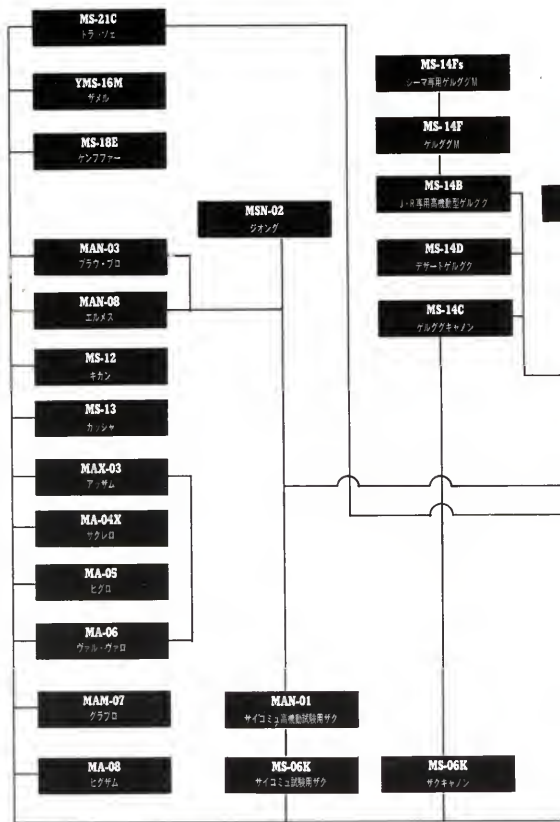


MS Development History





MS Development History



MS用語辞典①

アクティブスラスタユニット・コムサイ

アクティブスラスタユニット
[Active thruster unit]

ここでは特にGPO2Aの両肩に装備されているユニットのことを指す。GPO2Aは通常の連邦製MSと違い、バックパックに推進装置を装備できないため考案された。このユニットはGPO2Aをホバーで移動させられる程の出力を持っている。GPO2Aは、ガンダムタイプとしては破格の重量でありながら高機動での稼働が可能なのはそのためである。

ス社 [Anaheim electronics]
U C八〇年代に入りMS開発産業界において躍進した巨大企業。月のフォン・ブラウン市で、数機のガンダム・タイプ試作MSを造り上げた。一機は新方式のコアブロックシステムを搭載した汎用型で、もう一機は戦術レベルでの核兵器使用を可能とした特殊攻撃型である。

H L V [Heavy lift vehicle]

惑星などの重力下から衛星軌道上まで大容量の物質を持ち上げるために使用されるベイロード内蔵のシャトル。

キンバライト鉱山基地 [Kinbar light]

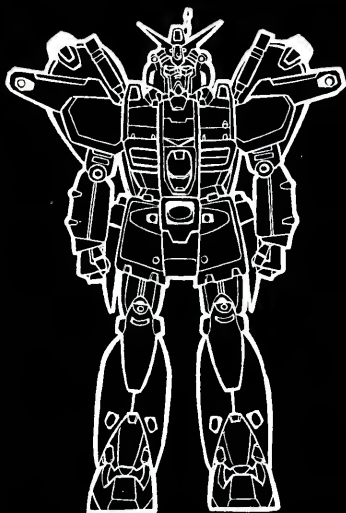
ダイヤモンド鉱山跡を改造したもとジオンの東アフリカ開放戦線基地。ノイエ・ピッター少将を司令として、終戦後三年にも渡って連邦軍から身を隠していた。ガトー少佐が連邦軍より強奪した試作ガンダムを宇宙に上げるために、最後のH L Vを使用した。コアブロックシステム [Core-block system]

パイロット、および作戦データの生還率を高めるために考案されたコクピットシステム。GPO1に搭載されているものはRX-78において問題となっていた腹部の構造的な脆弱さを補うために従来のバーティカル(垂直)・イン・ザ・ポディ方式からホリゾンタル(水平)・イン・ザ・

ポディ方式を実験的に採用している。

コムサイ [Comusai]

ジオン公国軍の所有するムサイ級巡洋艦の艦首に装備されている大気圏突入用の小型シャトル。機体後部にブースターを装着することによって大気圏離脱も可能である。ガンダム試作2号機を宇宙へ持ち運ぶために地上へと降下してきた。

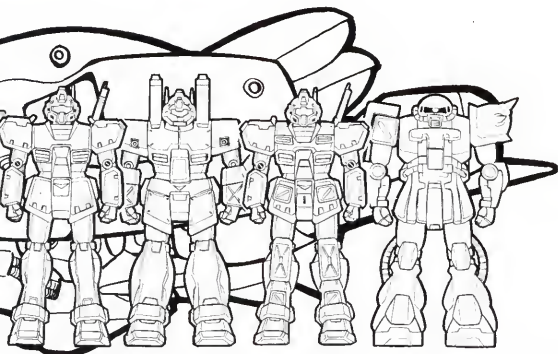


MS性能比較

An Ability-comparison of M.S.

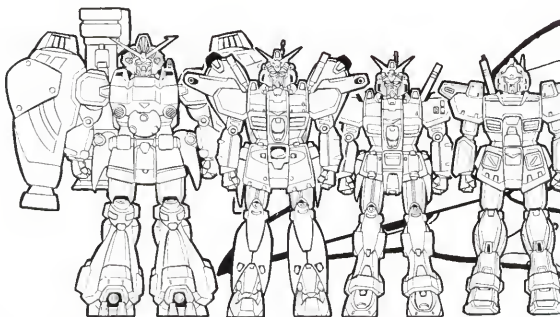
●0083年当時、MS開発においては、公国と連邦の技術の平均化と先鋭化の両方が行なわれていた。MSにおけるノーマライズとカスタマイズというふたつのベクトルは、この時期すでに確定していたといえる。

主スラスター推力 (kg)	180°姿勢変換 (sec)	主 武 装
42000×2 12000×2	0.9	60mmバルカン×2、 ビームサーベル×2、ビームライフル
32000×4 6800×4	1.1	60mmバルカン×2、 ビームサーベル×2、専用バズーカ
45000×2 13500×4	0.8	60mmバルカン×2、ビームガン×2、 ビームサーベル×2、ビームライフル
12500×4 1870×4	1.6	90mmマシンガン、ビームサーベル、 60mmバルカン×2
32000×2 1870×4	1.6	90mmマシンガン、ビームサーベル、 60mmバルカン×2
30000×2 1870×4	1.5	60mmバルカン×2、ビームサーベル ジム・ライフル
13000×4 1870×4	1.6	60mmバルカン×2、ビームサーベル、 ビームキャノン×2、ジム・ライフル

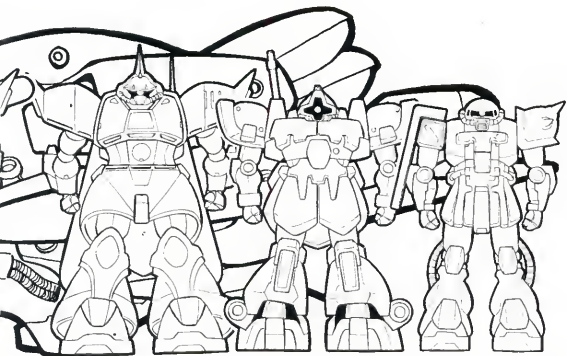


MS・MA性能比較

形式番号／愛称	全長 (m)	自重総重 (t)	ジェネレーター出力 (kw)	
RX-78GP01 ガンダム試作1号機	18.0	39.7 65.0	1790	
RX-78GP02 ガンダム試作2号機	18.5	54.5 83.0	1860	
RX-78GP01-Fb ガンダム・フルバーニアン	18.5	43.2 74.0	2045	
RGM-79C ジム	18.0	41.2 58.8	1250	
RGM-79 パワードジム	18.0	46.6 64.2	1650	
RGM-79N ジム・カスタム	18.0	42.0 57.6	1420	
RGC-83 ジム・キャノンII	18.0	47.3 66.9	1420	

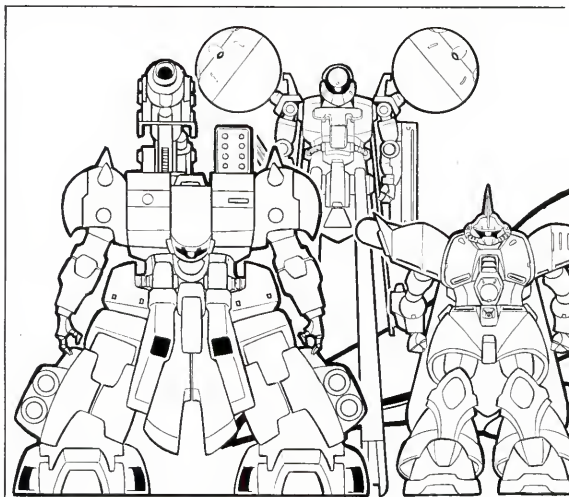


主スラスタ推力 (kg)	180 姿勢変換 (SEC)	主 武 装
20500×2 3100×4	1.7	120mmマシンガン、ヒートホーク
22000×2 7300×2	2.1	ラケーテン・バズ、90mmマシンガン シュツルム・ファウスト、ヒートサーベル
10300×6	—	8連多断層ミサイルランチャー 68cmカノン砲、20mmバルカン
20500×2 7000×2	1.6	110mm速射砲×2、ビームサーベル×2、 90mmマシンガン
20500×3 7000×4	1.5	110mm速射砲×2、ビームサーベル×2、 40mmバルカン×2、ビームライフル
28000×2 20500×3	—	ビームサーベル、40mmバルカン
184000×3 56000×3	—	大型メガ粒子砲×1、ミサイル・ポッド×2、プラズマ・リ ーダー×3、ビーム・ガン×2、110mmバルカン砲×4



MS・MA性能比較

形式番号／愛称	全長 (m)	自重総重 (t)	ジェネレーター出力 (kW)	
MS-06F2 ザク II	17.5	49.9 70.3	986	
MS-09F/TROP ドム・トローパー	18.5	44.8 79.0	1199	
YMS-16M ザメル(XAMEL)	27.0	75.0 121.5	1080	
MS-14F ゲルググ・M・量産型	19.2	45.1 81.3	1440	
MS-14Fs ゲルググ・M・指揮官用	19.2	40.5 80.0	1490	
MS-21C ドラッツェ(Dra・C)	(全長) 29.8	23.9 49.0	596	
MA-06 ヴァル・ヴァロ(VAL・WALO)	68.0 22.5 46.0	254.1 379.8	26030	



MS用語辞典②

ショックアブソーバー・ブラウン市

ショックアブソーバー [Shock-absorber]

ハワード・ジムの膝関節に装備されていたMS用の新装備。高高度からの落下時にともなう衝撃を吸収し、コクピットや他のパーツにダメージを与えないようにする緩衝器。戦術核 [Tactical nuclear-weapons]

核兵器はその使用目的、射程、爆発威力によっておもに戦略、戦術の二種類に分類される。戦略核は長距離運搬手段 (大陸間弾道弾、潜水艦発射弾道ミサイル、長距離爆撃

機など) を用いて使用する、最大級の破壊力をもつもの。

戦術核は戦場での軍事使用の攻撃に使用されるもので、戦略核兵器に比べれば威力は小さく小型の物にもなれば通常兵器との境界があいまいなまでの存在する。

ガンダム試作二号機が装備している核弾頭は、書類上戦術核兵器とされているが、その威力は戦略核並のものもっている。

デラーズ・フリード [Delaz-freed]
エギーユ・デラズ中將を

総帥とする旧ジオン残存艦隊暗礁宙域に潜みながら戦力を立て直し、ジオン再興をかげて地球連邦軍に宣戦を布告した。

トリントン基地 [Tolinton-base]

オーストラリアに存在する地球連邦軍基地。南極条約によって使用を禁じられた核の貯蔵庫をもっている数少ない基地の一つ。基地周辺の広大な土地を利用してMS用の新型バックパックやショックアブソーバーのテストが行われていた。

ブースターホッド [Booster-hood]

ここでは特にGPOI-Fbに装備されているものを指す。GPOIは、本来宇宙での行動も想定されており、基本的には周辺機器の換装のみ

で宇宙用としても運用できるように設計されていた。コアファイターII-Fbに装備されたブースターホッドは、宇宙空間での全方位機動に対応して造られた物である。このユニットそのものがスラスター及びアポジモータ、ベクターノズルとしての機能を合わせ持っている。

フォン・ブラウン市 [Fon-braun]

月面の静の海に建設された月の中心的都市。地下に向かつて、何重もの階層によって構成される階層都市で、居住区やオフィス街など階によって区分される。最下層は工場フラントやジャンク屋街となっている。



ガンダム・オフィシャル・レポート GUNDAM Official Report

●0080年に一年戦争が終結してから0087年のグリプス戦争までの期間、表層的には平穏に見えたこの時期に、その後の動乱の時代を予兆させる事件があった。

歴史

History

U.C.0079~0083

一年戦争

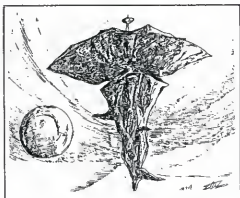
人類が宇宙に居住するようになった時代、U.C.(宇宙世紀)。地球の周辺には数多くの宇宙植民都市が建設され、全人口の半数以上が宇宙で暮らしていた。宇宙植民が開始されてから半世紀を過ぎたころ、地球に暮らす人々と宇宙に暮らす人々の間には、埋めることのできない亀裂が生じていた。それは、解決されないままに蓄積していき、U.C.0079年、戦争が起った。

地球から最も遠い宇宙植民都市サイド3はジオン公国を名乗り、地球連邦政府に対して独立戦争を挑んだ。公国軍は一方的な宣戦布告と同時にサイド1、2、4を奇襲。熱核生物、化学兵器を無差別投入し、住民を虐殺した。平行し

て「フリティッシュ作戦」が敢行され、地表に落下したコロニーは地殻、気象にわたる大変動を引き起こし、第一次第二次被害の総数は総人口の約半数に上った。同時に数で勝る連邦軍の宇宙艦隊が、ミノフスキー粒子散布による通信障害と公国軍の開発したMS(モビルスーツ)の前に敗退し、NBC(ニュークリア、バイオ、ケミカル)兵器の使用制限などを盛り込んだ南極条約が両軍によって締結された。そして、公国軍はMSの大量投入で地球に侵攻したが、補給線確保の不徹底や、先の艦隊戦で多くのベテランパイロットを失ったこともあり、戦況は膠着状態に陥った。

その後、連邦軍によるMSの開発や大規模な反抗作戦の展開などで、連邦軍は辛くも

勝利を収めることができ、指導者であるザビ家一党を失ったジオン公国は崩壊し共和国制に移行、連邦政府との間に終戦協定が締結された。しかし、戦争の原因そのものは解消されておらず、公国軍も実際には艦艇の半数以上が逃亡、潜伏し、戦争の火種は残されたままであった。(既刊参照)



一年戦争最後の激戦地となつたア・バオア・クー

歴史

年・月・日	事 柄
U・C 0001	宇宙移民開始をもって宇宙世紀に移行。地球総人口90億突破。
0027	初の月面恒久都市、フォン・ブラウン市が完成。
0040	総人口の40%(約50億人)が、宇宙への移民を完了。
0045	小惑星ユノー(ルナツー)月軌道に定着。サイド3にミノフスキー物理学会設立。
0050	総人口は110億に達し、そのうち90億が宇宙に移民。
0055	シャランホルスト・ブッホ、ブッホ・ジャンク・インク創業。
0058	ジョン・ズム・ダイクン、サイド3独立宣言。ジョン共和国樹立。国防隊発足。
0059	連邦政府、サイド3に対して経済圧力を加える。
0060	連邦軍、60年代軍備増強計画発動(特に宇宙艦隊の統制に力を注ぐ)。ルナツーの軍事基地化が行なわれる。
0062	ジョン国防軍、国軍へ昇格。
0068	ジョン・ズム・ダイクン死亡(暗殺の可能性あり)。次期首相はデギン・ソド・ザビ。シャランホルスト・ブッホ、旧欧州の名家ロナ家の名を購入。
0069-08-15	ジョン公国宣言。デギン・ソド・ザビ、公王に。ザビ家独裁体制のため、ジョン派は追放。ミノフスキー粒子の存在が実証される。
0070-03	公国軍、ミノフスキー粒子散布による電波妨害などの特殊効果—ミノフスキー効果—確証実験に成功。
0070-05	公国軍、メガ粒子砲を完成。
09	連邦軍、70年代軍備増強計画によるサラミス、マゼラン級の新型宇宙艦艇就役
12	サイド7建設のため、ルナツーを月軌道の反対側へ移動。
0071	ジョン公国軍兵器開発局、ミノフスキー粒子散布下における新型兵器の開発に着手。ミノフスキー物理学応用による小型核融合炉の1号機完成。
0072	ジョン公国軍、アステロイドベルトに小惑星基地アクシズを建設。
0073	公国軍、新型兵器1号機完成。MS 01の形式番号と、モビルスーツ(MS)という呼称を与えられる。
0074-02	公国軍、ミノフスキー型核融合炉搭載のMS 05ザクIの試作型ロールアウト。
0075-05	公国軍、MS 05ザクIの実戦型ロールアウト
07	公国軍、ムサイ級軽巡洋艦の一番艦就役。
0076	公国軍、地球進攻作戦を前提とした局地戦用MSの開発に着手。
0078-01	公国軍、ザクの強化型、MS 06ザクの量産を開始する。
05	サイド7第1号コロニー、未完成ながら移民が開始される。
10	ジョン公国、国家総動員令発令
0079-01-03	一年戦争勃発。ジョン公国、地球連邦政府に対し独立戦争を挑む。宣戦布告と同時にサイド1、2、4へ奇襲敢行。ABC兵器無差別投入。コロニーの落下により、大規模な気象変動を惹起。1・3〜1・10までの戦闘を一週間戦争と呼ぶ。この期間の戦闘で総人口の25%に相当する30億人が死亡)
01-11	サイド6中立宣言
01-15	ルウム戦役。連邦軍宇宙艦隊敗北。公国軍は艦隊司令のレビル將軍を捕虜とする。
01-31	南極条約締結。
02-07	公国軍、地球進攻作戦開始。
03	公国軍、占領した地域の施設を使い戦力を増強。
04	連邦軍、新型MSと専用強襲母艦の開発・建造を目的としたV作戦・失われた宇宙艦艇の量産を目的としたピンソン計画を同時に発動させる。
05	宇宙要塞ソロモン完成。
06	公国軍、宇宙要塞ア・バオア・クー、ソロモン、月面基地グラナダを結んだ本土防衛ライン完成。フラナガン機関の設立。
07	連邦軍、ビーム兵器の小型化に成功。連邦軍の新造艦ホワイトベース(WB)進宙。RX-78ガンダム試作第1号機、ロールアウト。
08	連邦軍製試作型MS、サイド7で最終テスト開始。北米オーガスタ連邦軍基地において、RX-78NT-1の開発が開始。
09-18	公国軍の特務部隊、サイド7を強襲。
10-04	ニューヨーク市において地球攻撃軍司令官ガルマ・ザビ、戦死
10-06	ギレン・ザビ、全地球規模の大演説を展開。
11-07	連邦軍、オデッサ作戦始動。3日間の戦いの末、連邦軍の勝利に終わる。これによって地球上のミリタリーバランスは一変する。
11-30	公国軍のジャブロー攻撃失敗。ジョン軍地上戦力の崩壊に拍子がかかる。
12-14	連邦軍、星1号作戦発動。
12-05	連邦軍、アフリカ、北米で公国軍掃討戦を展開。
12-21	公国軍、連邦軍北極基地襲撃。
12-24	ソロモン攻略作戦開始。公国軍敗退。宇宙攻撃軍司令官ドズル・ザビ中将戦死
12-30	デギン公王、ソーラ・レイ・システムにて死亡。連邦軍はレビル艦隊を喪失。
12-31	ア・バオア・クー攻防戦。要塞内において、ギレン・ザビ総帥、キシリア・ザビ少将とともに戦死。エギーユ・デラーズ大佐、配下の艦隊を率いて戦域を脱出。ア・バオア・クー陥落。連邦軍の勝利に終わる。
0080-01-01	一年戦争終結。月面のグラナダにおいて、地球連邦軍とジョン共和国の間に終戦協定が締結される。
01-	デラーズ、アクシズ行きを拒む公国軍残党を糾合し、艦隊を再編成。
03	デラーズ中將、艦隊を暗礁空域に移動。繋留基地「灰の園」の設営に入る。以後、対外的な活動は一時休止。
06	アフリカ戦線の旧公国軍、武装解除。

Histry

ジオン残党

U.C.0083年 一年戦争終結後、その混乱もようやく収まったかに見えたこの時期に、連邦の存在を脅かすほどの事件が起きた。オーストラ

リアの連邦軍トリントン基地において、重力下試験のためRX-78 GPO-1とともにアナハイムから納入されたばかりのRX-78 GPO-2Aが、デラース・フリートと名乗るジオン残党によって強奪されたのだ。GPO-2Aは、U.C.0081年に「連邦軍再建計画」の一環として採択された「ガンダム開発計画」に基づいて製作された機体のひとつで、戦略核並みの威力を持つ核融合弾頭が装備されていたデラース軍は、一年戦争当時、ジオン公国総帥ギレン・

ザビを崇拝するエギーユ・デラーズによって作られた組織で、地球と月の間の暗礁宙域に本拠を置いており、地球圏のジオン残党では最大の規模を持っていた。

デラーズは、一年戦争終結間際、ア・バオア・クーにおいて、ギレンの政敵であるキシリアが公国軍の指揮権を掌握したことを知ると、麾下の艦隊を率いて戦線を離脱した。ギレンとキシリア双方の方針が相容れないものであることは公国軍の中枢にある将官の多くには知られていたし、それぞれ反目し合う派閥も形成されていた。ギレンの支持者にとつて、ジオン公国の独立戦争は、ギレンが提示したイデオロギーそのものが宣戦の根拠であり、その理想の実践以外には目的も手段も結果も

ありえなかった。ギレンの掲げた理想が貫徹できないとなれば、それ以上の戦闘は無意味である。デラーズはそう判断した。その意味で、公国軍による独立戦争は勃発した段階から、ジオンの本来の理想とは掛け離れたものであったと言ふことができる。しかし、ギレンの説いた理想は、公国に住む民衆はもとよりスベール・スノイドのなかには熱狂的に支持するものもいた。ジオン公国という国家の成立と行動は、半世紀を過ぎた宇宙世紀を流れる大きな潮流のひとつとなっていたのだ。

地球上や、その周辺に残ったジオンの残党は、終戦から半年でほとんどが武装解除されてはいたが、それはあくまでも連邦の主観によるもので、資金や物資、あるいは民衆の支援などがある部隊は依然として反抗を続けていた。また、ジオン公国の掲げた理想や選民思想をよしとはしないものの、連邦政府や連邦軍の行政各種事業の運営などに不平、不満を感じている勢力は決して皆無ではなく、むしろ、ジオン公国が崩壊した後の方が、いわゆる反地球連邦運動はより活発になっていったということが出来る。

公国軍残党の多くは、連邦と終戦協定を締結したジオン共和国政府を正当な組織と認めてはおらず、ジオン独立戦争は依然として継続していると考えていた。そういった勢力の急先鋒であるデラーズは、アクシズはもとより、民間の企業などに潜伏しているジオン残党組織や個人と連係し、決起の日を待っていた。

歴史

年・月・日	事 柄
0081-03-14	フッホ・コンツェルン、利益の公共還元として職業訓練校を設立。
03-28	公国軍残党、小惑星基地アクシズに到着。
05-05	ドズル・ザビ夫人（ゼナ）、アクシズで病死。
08-15	デラーズ・フリート、「ジオン公国国慶節」を機にゲリラ的活動を開始。
09-17	ガトー、デラーズ・フリートに復帰。少佐に昇進する。
10-13	連邦軍再建計画が連邦議会で可決。
10-20	連邦軍再建計画の一環として、ジョン・コーウェン中将の管理下、アナハイムで「ガンダム開発計画」がスタートする。
11	デラーズ・フリートとアクシズ、協力関係を結ぶ。
0082-04	連邦軍、ニュータイプ研究機関の設立を決定。
05	第一次コロニー再生計画実施。サイド4（旧称）からサイド3へ修復可能なコロニーの移送が開始される。
12	デラーズ・フリート、「茨の園」内の工場プラントを利用したMS開発を計画。
0083-01	デラーズ・フリート、「ガンダム開発計画」を察知。アナハイムに工作員を潜入させる。
03	デラーズ中将、連邦勢力の安定化を懸念し、一大反抗作戦の立案を企てる。反連邦勢力への根回しを強化。
05	デラーズ・フリート、MS 21Cの生産を開始。
07-30	「星の屑」作戦計画、立案。
08-09	アクシズの指導者、マハラジャ・カーン死亡。
08-11	ハマーン・カーン（当時16歳）、ミネバ・ザビの摂政役に就任。デラーズ・フリートに好意を示す。
09	アクシズ、新合金「ガンダリウム・ガンマ」の開発に成功。シーマ艦隊、デラーズ・フリートに参加する予定だったがガトー少佐とのいさかいから成らず。
09-18	アナハイム・フォン・ブラウン工場にて、RX 78GP02Aをロールアウト。
09-29	同工場にて、RX 78GP01及びFb（フルバーニアン）用換装ユニットロールアウト。
10-07	アルビオン、アナハイム・フォン・ブラウン工場でGP01、GP02Aを受領。地上試験のため連邦軍オーストラリア、トリントン基地へと出航する。
10-09	ガトー少佐、アフリカに降下。地上のジオン残党と合流する。
10-13	アルビオン、トリントン基地に到着。「星の屑」作戦発動。ガトー少佐行動開始。夜半にMk.82核弾頭二とGP02Aを奪取。連邦軍の残存MS小隊がGP02Aの追撃開始。
10-14	未明、ガトー少佐、GP02Aを積載したコムサイで脱出を計るがGP01によって阻止される。バニング小隊、海岸線でGP02Aと交戦。GP02AはU 801に回収され脱出成功。アフリカへ向かう。ジャブローのコーウェン中将からアルビオン、シナプス艦長にGP02A奪還命令が下る。アルビオン、GP02A奪還のためアフリカへ出航。
10-16	アルビオン、アフリカへ到着。ジオン基地の探索を開始。
10-23	ガトー少佐及びGP02A、ジオン残党キンバライト基地に到着。アナハイム技術員ニック・オーベルのスパイ行為発覚。コアファイターIIでアルビオンを脱出。キンバライト基地司令ビッター少将敗退行動、陽動作戦開始。ガトー少佐、GP02AはHLVで軌道上へ脱出。キンバライト基地降伏。デラーズ・フリートのムサイ艦隊旗艦パール・ギュント、HLVを回収。連邦軍第一地球軌道艦隊のサラミス部隊と交戦の復行方をくまます。
10-25	シーマ艦隊、デラーズ・フリートに参加。
10-31	パール・ギュント、暗礁宙域秘匿航路を航行中にシーマ艦隊のリリー・マルレーンとニアミス。パール・ギュント、暗礁宙域「茨の園」に帰還。アルビオン、二隻のサラミスと合流、暗礁宙域探索開始、リリー・マルレーンに迎撃される。ガンダム試作1号機大破。デラーズ宣言。地球全域にデラーズ・フリートの宣戦布告が放送される。
11-01	第二次コロニー再生計画実施。サイド1からサイド3へ修復可能なコロニーの移送が開始される。
11-02	アルビオン隊、月面都市フォン・ブラウンに到着。GP01は修理とFbタイプへの換装のためアナハイムの工場へ搬入。
11-03	フォン・ブライン市の資源搬入港にデラーズ・フリートの偽装連絡艦が入港。
11-04	アナハイムのリバモア実験場でGP01 Fbのトライアル開始。MA 06ヴァル・ヴァロの襲撃に対応してアルビオン緊急発進、GP01 Fbヴァル・ヴァロを撃破。アルビオン月引力圏を離脱。ソロモン海へ向かう。
11-05	ガトー艦隊ソロモン海作戦域に向け「茨の園」を出航。航行中のアルビオン、デラーズ・フリートの小部隊と遭遇し砲撃戦を展開。
11-07	ガトー艦隊、ソロモン海作戦域に到着、待機。
11-04	ジャミトフ・ハイマン提唱によりティターンズ結成、旧公国軍残党狩り活発化。
0084-06-17	連邦議会、地球圏の現状維持を発表。
07-08	フッホ・コンツェルンの球形コロニー完成。
09-21	ジャ・アズナブル、地球圏に帰還。非合法で連邦軍の軍籍を得る。
0085-07-31	30パンチ事件。ティターンズがサイド1・30パンチに毒ガスを注入し住民を虐殺。反地球連邦運動（A・E・U・G）活発化。
09-08	グリプス2、サイド7に建設される。
0086-02-06	アクシズ、地球圏に向けて発進。
0087-07-31	エウゴ、グリプス1より試作MS 3機を強奪。
04-29	木星エネルギー輸送船ジュピトリスの地球圏帰還をもって惑星開発計画規模縮小。
05-11	エウゴ、地球連邦軍ジャブロー基地を攻撃。
06-29	ティターンズ、ホンコン・シティを襲撃。
08-10	ティターンズ、アポロ作戦発動。フォン・ブラウン市を襲撃。

Histry

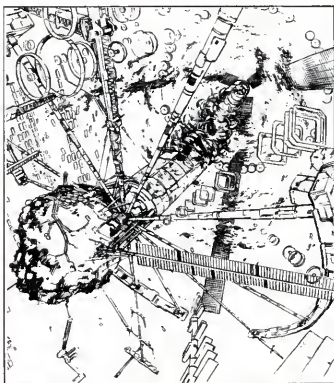
デラーズフリート

デラーズ個人の真意が奈辺にあったか定かではないが、ジオン復活の機運は常に潜在于いた。一説には、アクシズの情勢とも無関係ではないとされている。連邦政府が標榜する正義と連邦の実体が相容れないものであること、すなわち、平和を説きながら軍備拡張を行なっている実例を手に入れられれば、それに反

抗する大義を持つことができる。民衆に対する言質をとることが、行動開始の必要条件だった。その意味で、連邦軍のコーウェン中将指揮による「ガンダム開発計画」は渡りに船だったといえる。GPO 2Aの開発は、連邦があらゆる軍事行動の根拠としている民衆の生命財産を護るという主張を根底から揺るがすことになる。一般に核兵器の製造使用は、全人類に対する重大



エギーユ・デラーズ



暗礁空域に浮かぶデラーズ・フリートの本拠「茨の園」

な背任行為でというこのコンセンサスは、旧世紀の金科玉条だったからである。デラーズは、GPO 2Aの奪取によりその活動の正当性を得たと判断し、民衆へのアヒールを行なった。デラーズ・フリートが決起

をアヒールした直後、連邦がとった行動は、GPO 2Aの奪取と、デラーズによる宣言などの報道にあらゆるデス・インフォメーションを織り込み、のちにこの事件そのものを隠蔽するための工作だけであつた。

歴史

年・月・日

- 08・17 エウゴの指導者、ブレックス・フォーラ准将暗殺。
 10・12 アクシズ、地球圏に帰還。
 11・16 エウゴ、ダカールの連邦議会を占拠。全世界にティターンズの悪を訴える。
 12・07 ティターンズ、グリプス2のコロニーレーザーでサイド2・18パンチを破壊。
 12・14 ティターンズ、サイド2・21パンチを霧ガス攻撃。住民は全員死亡。
 0088-01-18 アクシズ、ゼダンの門の旧ア・バオア・クーを破壊。
 02-02 エウゴ、メールシュトローム作戦発動。艦隊戦によりグリプス2を占拠。
 02-22 エウゴ、アクシズ、ティターンズによる艦隊戦。ティターンズ敗北。コロニーレーザー破壊。エウゴ戦力の過半数喪失。シャア・アズナブル行方不明。
 [ティターンズの反乱(グリプス戦争)]終結。
 06・06 ネオ・ジオン、先遣部隊を地球に降下させる。
 08-01 ネオ・ジオンの本隊、地球を侵襲。
 08-29 ネオ・ジオン、ダカールを占拠。旧公国軍、ティターンズ残党を配下に治める。
 10-31 ネオ・ジオン、ダブリンにコロニーを落とす。
 11-14 連邦政府、サイド3をネオ・ジオンに譲渡。ネオ・ジオンの戦力、地球より撤退。
 12-25 ネオ・ジオン内でグレミー軍が謀反。
 0089-01-16 アクシズ、コア3に激突。
 17 エウゴ、ネオ・ジオンを制圧。ハマーン・カーン戦死。ミネバ・ザビ行方不明。
 [ハマーン戦争(第一次ネオ・ジオン抗争)]終結。
 03-15 木星エネルギー輸送再開。ジュピトリスII発進。
 05-01 連邦軍、大質量アステロイドの管理体系を再編成。
 08-25 連邦軍、スペースノイド寄りのコロニーに対し経済制裁等の引き締め強化。
 0090-01- エグム、N S P等、反地球連邦組織の活動活性化。
 02- 難民収容施設として、スウィート・ウォーターを改造。
 03 連邦軍、外郭新興部隊ロンド・ベル隊設立。
 0092-08- 連邦軍、本部をテベットのラサへ移動。
 12-13 ネオ・ジオン、地球連邦軍に対し攻撃を示唆。
 12-22 シャアを総帥とする艦隊、スウィート・ウォーターの占拠を宣言。
 12-25 連邦軍、ロンド・ベル隊を増強。
 0093-02-27 ネオ・ジオン総帥のシャア、インタビュー番組内で事実上の宣戦布告。
 03-03 ネオ・ジオン艦隊スウィート・ウォーターを発進。
 03-04 5 t hルナ、連邦軍本部所在地テベットのラサに激突。
 03-06 ネオ・ジオン軍と連邦軍、サイド6、ロンデニオンにおいて、極秘裏に和平交渉。
 03-12 ネオ・ジオン艦隊、投降を偽装し、アクシズを奪回。地球へ降下させるが失敗。
 [アクシズ戦争、シャアの反乱(第二次ネオ・ジオン抗争)]終結
 0100- 連邦軍、ジオン共和国の自治権放棄をもって、戦乱の消滅を宣言。
 0103- 反地球連邦組織「マフティー」軌道上の監視用人工衛星を破壊。
 0104-02-28 地球上の連邦軍増強。地球上のマン・ハンター組織や、不法居住者摘発を強化。
 0105-04-09 ミノフスキー・クラフト搭載のMSバーネロベーム月からオーストラリアに移送。
 05-01 反地球連邦組織のリーダー、マフティー処刑。
 0105-06- 連邦軍、反地球連邦組織に対する弾圧強化。反地球連邦運動、表面的には鎮静化。
 0106- 新規コロニー建設再開決定。極秘裡にC・V(クロスボーン・バンガード)設立。
 0109 R G M-109ヘビーガン・ロール・アウト
 0110-04 エンゲイスト・ロナ、コロニー公社副総裁に就任。
 0110-04 連邦軍、次期主力MS開発を決定。サナリ社(F(フォーミュラ)シリーズが、アナハイム・エレクトロニクス社を破り、制式採用となる。
 0111-10 フロンティアサイド(旧サイド4)再建開始。
 0112-06 アナハイム部内で極秘裏にシルエット・フォーミュラ・プロジェクト始動?
 0113-04 ハウゼリー・ロナによる「地球環境保全法案、適当医療廃止法案」廃案となる。
 0116-05 ラフレシアプロジェクト構想始動「地球環境保全法案」再提出。
 0117 プッホコロニー、一般民間人にも解放。
 0118 ハウゼリー・ロナ暗殺。
 0119 ラフレシア・プロジェクト発動。
 0120-10-25 ジュピトリス級輸送艦「コバヤシ丸」、謎のMS部隊に襲撃される。
 28 サイド4空域でテスト飛行中のF-90の試作機が謎のMS部隊に強奪される。
 0123- R X F-91ロールアウト?
 .03-16 C・Vを名乗る謎のMS部隊がフロンティアサイドを襲撃。フロンティアIVの住民五百人以上が死亡。14万人が避難。
 19 C・V、フロンティアII、IIIを襲撃。
 22 フロンティアII、IIIを襲撃。
 24 サウザンズジュビター地球圏に到着。C・Vによって拉致されるが、艦長は協力を確約。
 26 C・V、フロンティアIVにおいてコスモ・パピロニアを宣言。
 30 C・Vの鉄仮面、独断でフロンティアIにおいてバク及びラフレシアを稼働させ、コロニー・シリンドラー内の住民を虐殺。連邦軍のF91によって撃破される。
 31 C・Vのドレル大隊、ザビーネ隊など、コスモ・パピロニアへ凱旋。

History

ガンダム・オフィシャル・レポート.2

通常戦力

Weapon

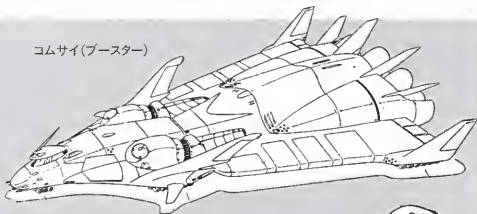
UC.0080~0083

デラーズ・フリート①

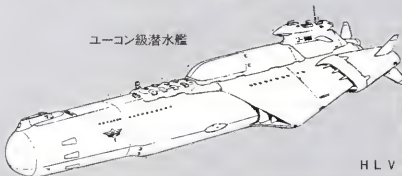
ア・バオア・クーにおける戦いの決着をもって一年戦争は終結を迎えた。しかし、この戦いが終わる前後、残存艦隊のおよそ半数が、前線から離脱していた。それらのうち一方はアクシズに向い、他方は月と地球の間にある暗礁空域に向かった。ジオン残党のうち、アクシズへ向かうことを潔しとせず、玉砕覚悟で徹底抗戦を主張する勢力があった。しかしデラーズはそれらの兵たちを糾合し、暗礁空域での離伏を提言した。デラーズ・フリートはこうして成立した。

連邦軍の追跡調査やゲリラ掃討は主に地球上で行なわれ、宇宙空間での搜索はかなりずさんなものであったらしい。

コムサイ(ブースター)



ユーコン級潜水艦



HLV



Weapon

通常戦力

ことに、長期に渡る隠密活動などは本来困難なはずだが、連邦軍は戦力の整理がすんでいないことを口実に、暗礁空域などの危険な宙域の搜索を避けていたのだ。さらに、デラース・フリートの活動を援助する勢力もあり、ことに民間企業の協力や物質の横流しなどはほとんど摘発されることはなかった。地球連邦の政策や行政に不満を持つスヘイスノイドは多く、ジオンに期待する人々も依然として多数に上ったのだ。

デラース・フリートが保有する戦力は一年戦争時のものがほとんどだが、連邦軍による接収をまぬがれた設備や施設を使い、独自の兵器を開発、製造することも可能であった。

●H L V

重量物を軌道上まで打ち上

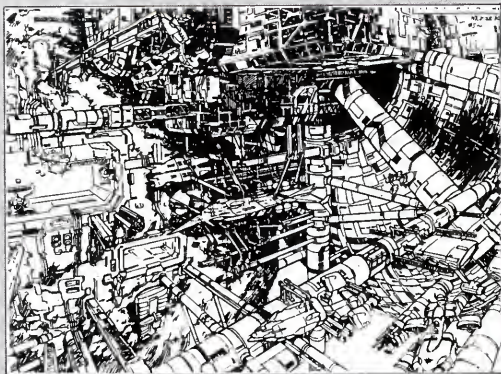
げる設備。ムサイ級巡洋艦に装備されるH R S L（降下用カプセル）に準じたもので、主に脱出用に使用される。打ち上げ用ブースターを取り付けた場合の全長は110mにおよび、M S 数機を軌道上に運搬する程度のペイロードを有する。この機体は大気圏再突入の能力も持っている。

●コムサイ（&ブースター）

ムサイ級巡洋艦の艦首に装備されている連絡艇。大気圏突入能力を持っており、地上からの脱出にはリニアカタパルトやブースターを使用する。

●ユーコン級潜水艦

ジオン残党のうち、もったも摘発されにくいのが海中戦力である。原子力潜水艦は生鮮食料品の供給をのぞけば、ほぼ無限といえる航続能力を持つている。



デラース・フリート基地「茨の園（港部分）」

Weapon

通常戦力

デラースフリート②

●茨の園

デラース・フリートが活動の拠点としている繁溜基地。

月と地球の間には、重力が不安定で空間挟雑物が（宇宙空間としては）高密度で集積してしまう暗礁空域と呼ばれる危険な宙域がある。この周辺には、投棄された廃品や未登録の小惑星などもあるがジャンク回収などを生業としているものでも減多に立ち入ることとはない。茨の園は、スクイーズド崩壊を起こしたらしい廃棄コロニーの残骸を利用し、居住スペースはもとより、宇宙艦艇用港湾や、MS製造施設などを建設した。このコロニーのシリンドラー部分に居住することはできないが、併設された周辺の施設の活用に加

え、資源衛星と組み付けることによって、資材調達などに利用している。

●偽装連絡艦

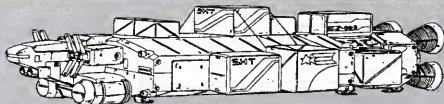
デラース・フリートのシーマ・ガラハウ中佐が、月面のフォン・ブラウンに潜入するさいに使用した艦艇。外見は一般によく使われている貨物輸送用の大型ランチだが、カীগコやコンテナはMSなどの機動兵器が収納できるように改造されている。

●バブア補給艦

一年戦争以前から使用されている旧式の補給艦。ペイロードはかなり広く、航続距離もあり、各種資源、資材の搬出、搬入に使用されている。

●バゾク輸送艦

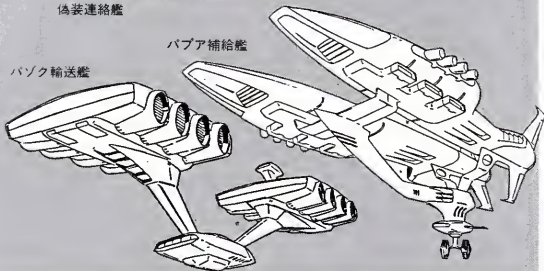
バブアに代わる輸送艦として作られた一年戦争以来の新型輸送艦。航続距離や移動速



伪装連絡艦

バブア補給艦

バゾク輸送艦



通常戦力

度はバファ並ではあるものの、ペイロードが幾分か広くなっており、一度に大量の物資を輸送できる。

●グワジン級戦艦グワデン

一年戦争当時、よく旗艦として使われ、将官らが乗り込むことが多かったもので、グレート・デギンなどの同型艦。デラーズがもとと乗艦していた艦で、現在はデラーズ・フリートの旗艦となっている。

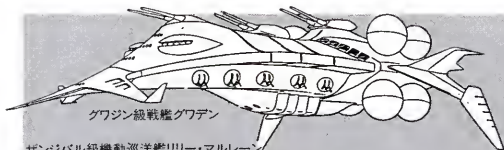
●ムサイ級巡洋艦

公国軍で最も多く生産された宇宙巡洋艦で、エンジンナセルや艦体の構成が同等なだけのまったくの改裝艦や、建造時期による多くのバリエーションがある。この型の艦艇は一年戦争後期、あるいはそれ以降に設計、建造されたもので、前期型と呼ばれるものと多くの点で異なっている部

分がある。現在のジオン共和国が使用している艦艇は、多くが前期型の改修艦だが、デラーズ・フリートは、これらの艦艇を建造できる規模のドライドックも保有していたため、新造艦である可能性もあるとされている。

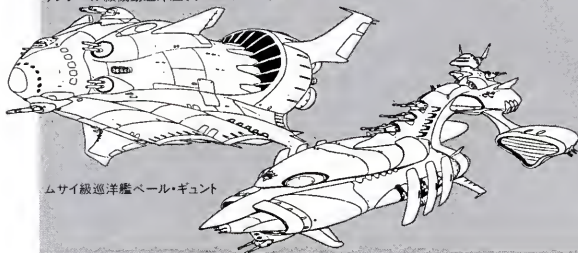
●ザンジバル級機動巡洋艦

リリー・マルレーン
デラーズ・フリートのシーマ・ガラハウ中佐の乗る機動巡洋艦。一年戦争当時に使用されていたものを設計段階から改修したものだと言われており、大気圏突入、脱出能力を持つ。大気圏内では、ある程度の飛行能力も持っており、大気圏を脱出する場合には、船体とほぼ同じ大きさのフロベラント・ブースターとリニアカタバルトの併用が必要とされている。



グワジン級戦艦グワデン

ザンジバル級機動巡洋艦リリー・マルレーン



ムサイ級巡洋艦パール・ギュント

通常戦力

地球連邦軍

一年戦争後の連邦軍は、戦力の立て直しに奔走していたことに、驚異的といえるほどの戦績を残したRX-78ガンダムに対する評価は信仰とさえいえるほど高いもので、いわゆるV作戦と同じ規模の開発計画が極秘裡に進行していた。もともと、それはあくまでも機種、機能に関してであって、量産までを見越したものではなく高性能機の開発と運用にまつわるもののみであることはいうまでもない。

●ベガス級強襲揚陸艦

アルビオン

連邦軍による極秘プロジェクト「ガンダム開発計画」の一環として、強襲揚陸艦の開発も平行して行なわれることになった。アルビオンは、一

●アルビオン

レーザー推進システム

アルビオンのエンジンナセルに装備される推進システム。戦艦クラスの艦艇が天体の重力を振りきるには巨大な推力を必要とするが、それらの巨大ブースターやリアカタパルトを使用できない場合や、緊急のときなど、機体そのものにフロペラントを積載する必要もなく、目的地までの初期加速を得るためにはもっとも経済的なシステム。これには、月面などに数ヶ所設置された母機となる設備が必要だが、コストハフオーマンスに

ベガス級宇宙強襲揚陸艦アルビオン

アルビオンレーザー推進システム

中型輸送機メディア

サラミス級宇宙戦艦

通常戦力

において非常に優れた側面を持つ

●サラミス級戦艦

連邦軍が保有する、もっとも一般的な宇宙艦艇。MSの登場により主力兵器としての座からは退いたが、依然として重要な戦力であることに変わりはない。この艦は一年戦争以降に改修されたもので、デラーズ・フリートの拠点を搜索するアルビオンへの増援部隊として派遣された。

●ミデア輸送機（中型）

連邦軍では、輸送機のうち、大型コンテナとそれを移送する航空機のシステムなどを、初期に作られた機体を踏襲する形でミデアと呼称している。一年戦争時に多く使用された大型のものは、大量輸送が可能である代わりに、MSなどの襲撃に対しては脆弱であった

ため、戦争後期は、空戦能力や飛行性能を充実させた中型のものが多く使用されるようになってきている。この機体は、デラーズ・フリートの襲撃を受けたオーストラリアのトリントン基地に増援が派遣されるときに使用されたもの。

●レーザー発振システム

大型の航空機に装備されている推進システムの母機。レーザー推進システムは、推進に必要とされる推力を得るためのエネルギー源を外部から供給するシステムで、月面上に数ヶ所ほど、どの航路に対してもブラインドがないように設置されている。通常の推進剤を必要としない点からも緊急の場合や、無人の大量急送貨物などに対してかなり頻繁に使用されている。



月面レーザー発振ステーション

Weapon

MS

【MS用語辞典③】

プラズマリーダー・ワン・スティック・コントローラー

プラズマ・リーダー [plasma-leader]

MAヴァル・ヴァロに装備されている特殊武器。3個を一組としたプラズマ発生装置を対象物(MSなど)の周辺に打ち込み放射したプラズマによって境界を張り目標に高熱を加える兵器。

フルバーニアン [Full-vernian]

月のアナハイム工場で重力下仕様から宇宙仕様に変更したガンダム試作1号機の愛称。背中のブースターポッドを初めとして機体各所にアポジモ

ーターが新設されているため、このような愛称がついたものと考えられる。

リリー・マルレーン [Lily-mauren]

デラーズ・フリート所属、シーマ・ガラハウ中佐が使用するザンジバル級機動巡洋艦の愛称。シーマ艦隊の旗艦である。

ルナリアン [Runarian]

地球生まれの地球育ちのことをアースノイド、コロニー生まれのコロニー育ちのことをスペースノイドということに、月面生まれの月面育ちの

ことをルナリアンと呼ぶ。スペースノイドと区別して使われる由縁は、地球ではないがその衛星、月という惑星上に生きづく民であるということからであろう。

レーザー推進システム [laser-driven system]

本体のプロペラントを使用せず、月面などに数カ所設置された主器から受けたレーザーを集約し、それを熱源として推力を得るシステム。本来は、核融合推進装置などを取り付けるのが困難な岩塊などに装着する推進装置。

ロケットブースター [rocket-boost]

アフリカ、キンバライト鉱山基地のジオン残党軍が使用していたMS用の追加装備。バックパック横に装着することにより通常スペック以上の

ジャンプ力を得ることができるようになる。ピットャー少将率いるMS部隊がアルビオンを撃沈するために使用した。ワン・コントロール・スティック [one control stick]

戦争によって片腕を失ったケリー・レズナーが、MAヴァル・ヴァロを操縦するために取り付けた操縦装置

オートマニユアルスイッチ付きで、基本的な操作系統を片手で行えるように改良されており、それ以外の操作はコンピュータにサポートさせる。

ドラム 29.8m

モビルスーツ対比表

19512改版



ドム・ローバン
18.5m

ビュウ 29.2m (重武装)

ガンダム2号機
18.5m

ガンダム1号機
フルバニオン
18.5m

ジムカス96
18m

ジムキャノンII
18m

ザクII
17.5m



0083 設定資料大図鑑

ビエオ・機動戦士ガンダム0083
スターダスト・メモリー

対比
90.12
ビエオ
KGD
0083
#5

機動戦士
身長対比表

19512

19512改版



19512
19512改版

19512
19512改版



3

ガンダム製作工程
コックピット・バックシートの
製作工程

8/10 4/10 1/1
1/1 1/1 1/1

① 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

② 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

③ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

④ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

⑤ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

⑥ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

⑦ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

⑧ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

⑨ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

⑩ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

⑪ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

⑫ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

⑬ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

⑭ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

⑮ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

⑯ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

⑰ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

⑱ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

⑲ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

⑳ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㉑ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㉒ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㉓ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㉔ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㉕ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㉖ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㉗ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㉘ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㉙ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㉚ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㉛ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㉜ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㉝ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㉞ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㉟ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㊱ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㊲ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㊳ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㊴ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㊵ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㊶ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㊷ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㊸ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㊹ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㊺ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㊻ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㊼ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㊽ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㊾ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

㊿ 1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

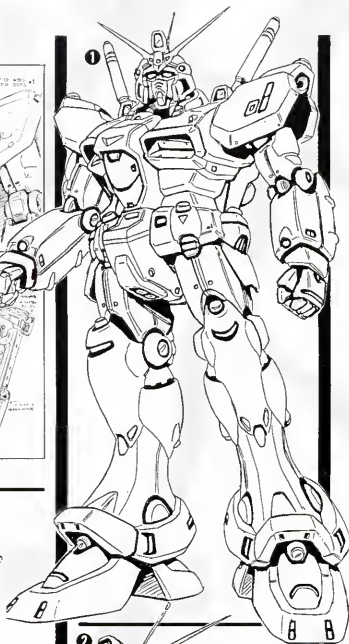
1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

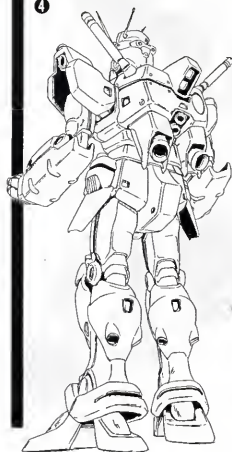
1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

1/10 1/10 1/10
1/10 1/10 1/10

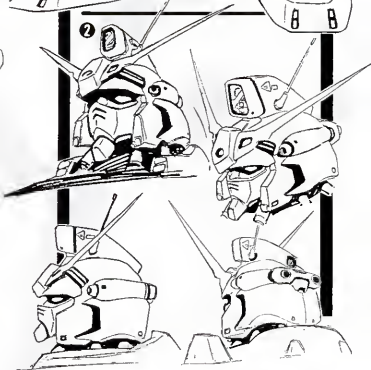
1



4



2

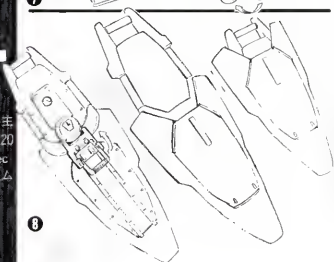
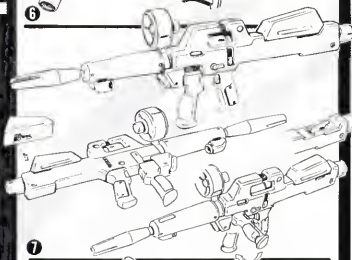
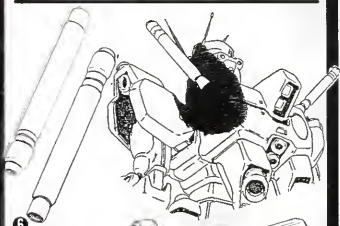
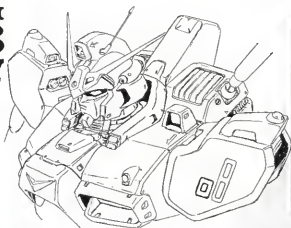


GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

ガンダム試作1号機 RX-78GP01

アナハイム・エレクトロニクス社が中心となって開発した「ガンダム・タイプ」MSの試作1号機 RX-78の機体コンセプトを生かしつつ、より人間に近い動作ハターンを目標に機体構造が見直されている。また新型コアファイターによるコア・ブロックシステムも採用している。

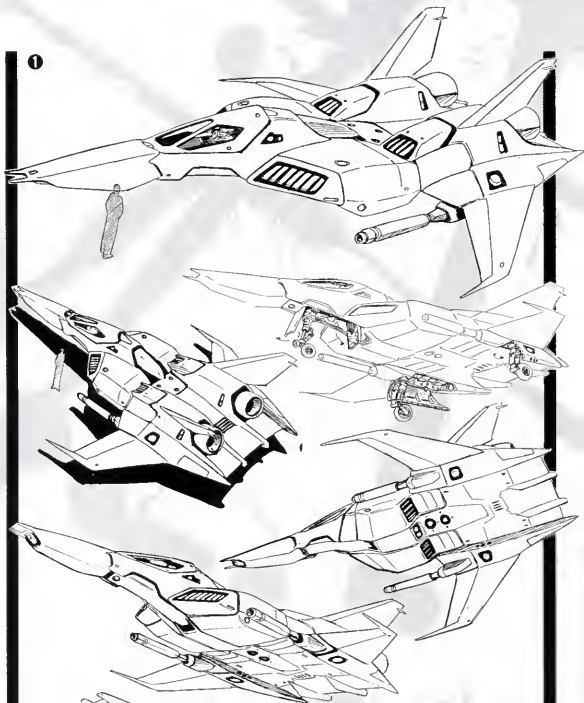
- ① フロント・ヒュウ
- ② 頭部
- ③ コクピット
- ④ リア・ヒュウ
- ⑤ 胸部・アッパ
- ⑥ ビームサーベル
- ⑦ ビームライフル
- ⑧ ノールド



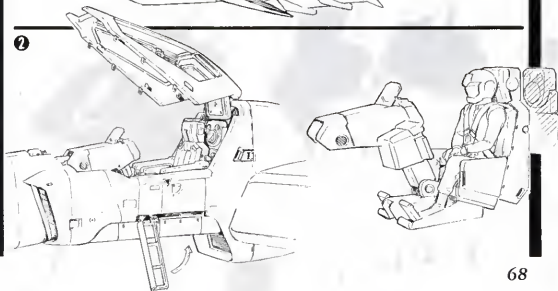
RX-78GP01 SPEC

全高/18.0m 総重量/65.0t
ジェネレーター出力/1790KW 主
スラスター推力/42000kg×2、120
00kg×2 180°姿勢変換/0.9sec
武装/60mmバルカン×2、ビーム
サーベル×2、ビームライフル

①



②

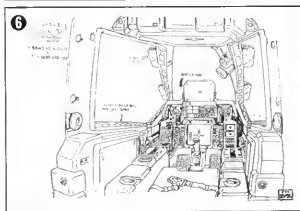
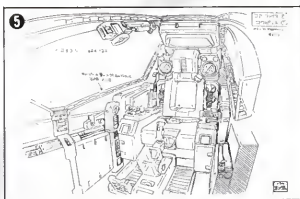
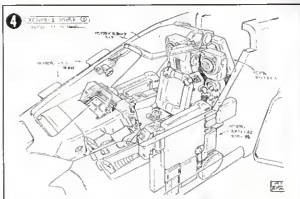
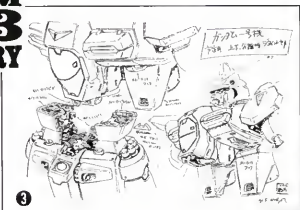


GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

コアファイターⅠ FF-XⅠ

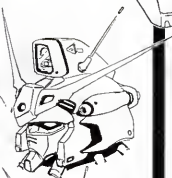
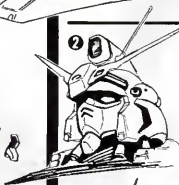
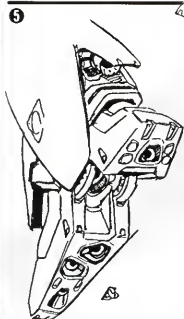
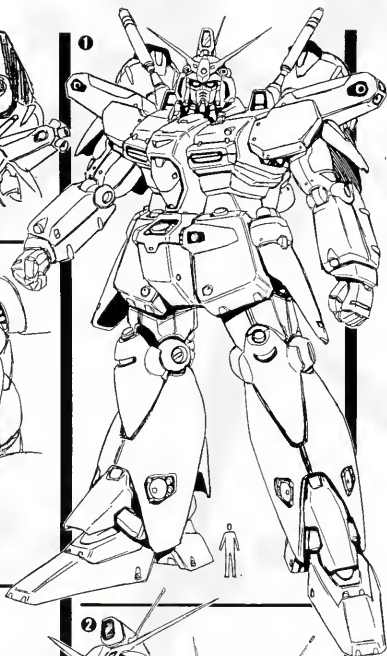
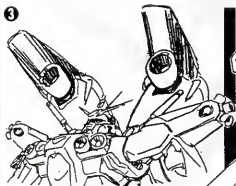
熱核ロケットエンジンを装備した地球連邦軍戦闘機。コア・ブロックに変形することによって、試作MS、RX-78GP01のコクピットとなる。主武装のビームガンはMS時にビームサーベルへと転用、エンジン部はそのままMS時のメインスラスターとなる。

- ①機体・ビュウ
- ②コクピット・外観
- ③機体ジョイント部
- ④コクピット内部 1
- ⑤コクピット内部 2
- ⑥コクピット内部 3



FF-XⅠ SPEC

全長／14.7m 翼巾／10.5m 総重量／15.9t 主スラスター推力／42000kg×2 主武装／ビームガン×2



ガンダム試作1号機 (宇宙仕様)

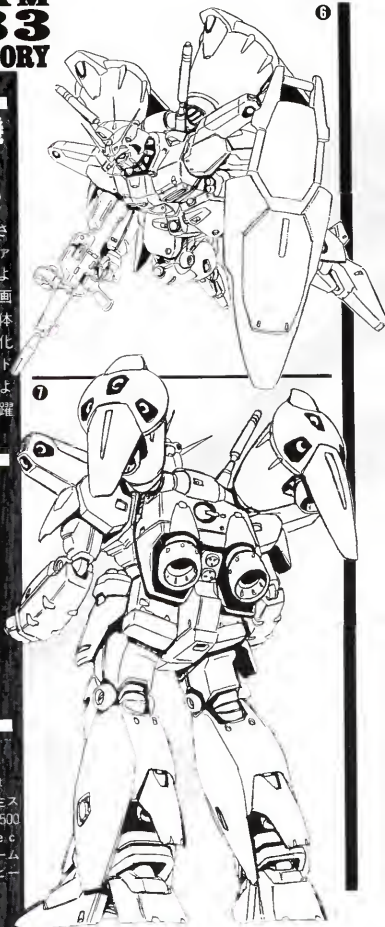
RX-78GP01-Fb

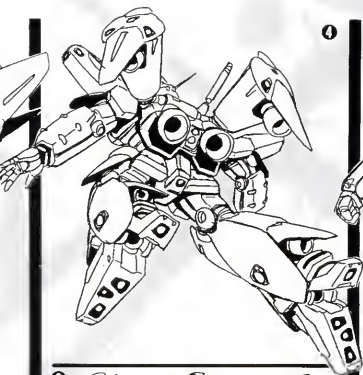
G P01を宇宙仕様に換装させた機体 もともとコアファイターや機体各所の換装によって宇宙空間での稼動も計画されて開発されたため、機体の基本フレームは大きく変化していない。バーニアホッドや各所スラスターの併用によって機動、運動性ともに飛躍的に向上している

- ①フロント・ビュー
- ②頭部
- ③ブーストホッド稼動例
- ④ブーストホッド基部
- ⑤脚部追加バーニア
- ⑥戦闘装備
- ⑦リア・ビュー

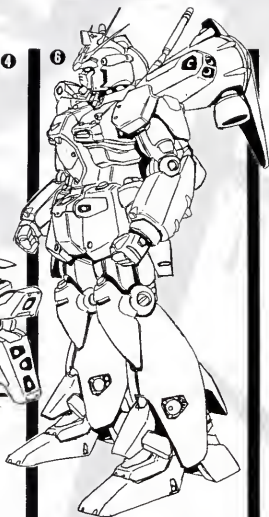
RX-78GP01Fb-SPEC

全高/18.5m 総重量/74.0t
ジェネレータ出力/2045kW 主ス
ラスター推力/45000kg×4、13500
kg×4、180°姿勢変換/0.8sec
主武装/60mmバルカン×2、ビーム
ガン×2、ビームサーベル×2、ビーム
ライフル×2





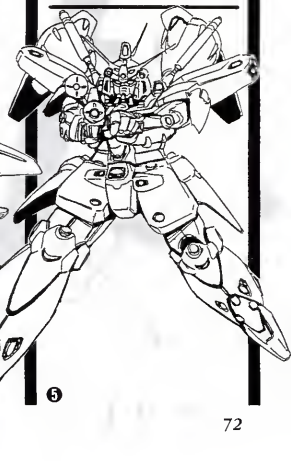
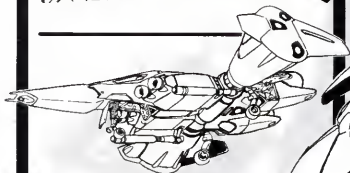
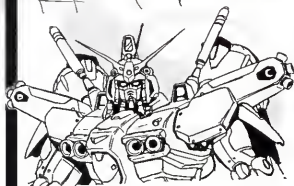
1



6



3



5



2

GUNDAM 0083 STAR DUST MEMORY

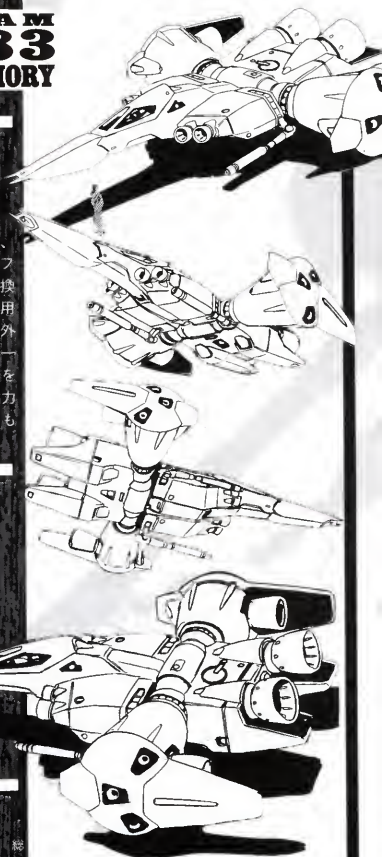
コアファイターⅡ (宇宙仕様) FF-XⅡ-Fb

G P01の機体に合わせて、そのコクピットとなるコアファイターもまた宇宙仕様に換装された。無重力下では不用となる大気圏内用の主翼を外し、プロペラントタンクと一体になったバーニアホットを装備、またジェネレータ出力も向上し宇宙戦闘機としても高水準の機能を達成した。

- ①機体・各ハースビュー
- ②着陸脚
- ③胸部／肩部バーニア
- ④アクション
- ⑤アクション
- ⑥サイド・ビュー

FF-XⅡ-Fb SPEC

全長／15.6m 翼巾／14.3m 総重量／22.6t
主スラスター推力／45000kg×4 主武装／ビームガン×2



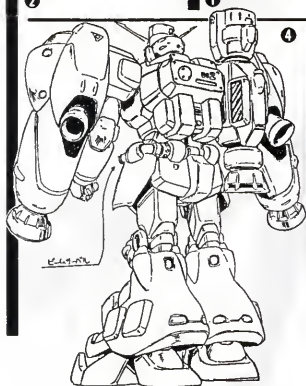


②

①

④

③

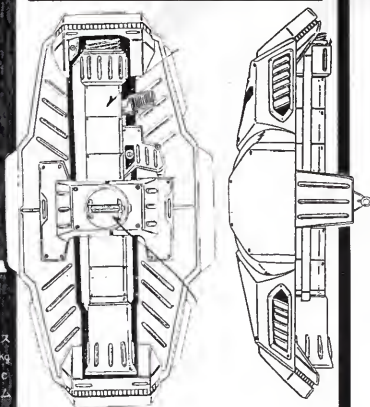
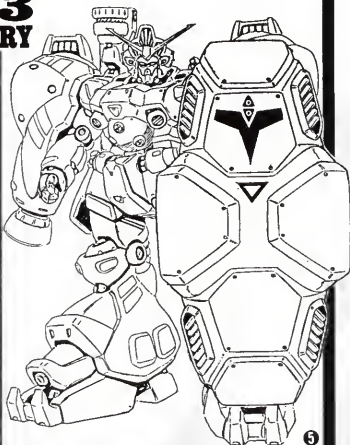


GUNDAM 0083 STAR DUST MEMORY

ガンダム試作2号機 RX-78GP02A

1号機同様アナハイム社が開発したガンダム・タイフーンS 戦略核の使用を目的に開発された機体で、背部のバズーカ砲に核弾頭弾を装備することが可能である。また各装甲部は核使用時を考慮され耐熱、耐衝撃処理を施され、冷却装置を組み込まれた大型のシールドも装備している。

- ①フロント・ヒュウ
- ②頭部
- ③ヒームサーベル
- ④リア・ヒュウ
- ⑤シールド装備状態
- ⑥シールド・側部、裏面



RX-78GP02A SPEC

全高/18.5m 総重量/83.0t
ジェネレータ出力/1860kW 主ス
ラスタ推力/32000kg×4 6800kg
×4 180°姿勢変換/11ssec
主武装/60mmバルカン×2、ヒーム
サーベル×2、専用バズーカ

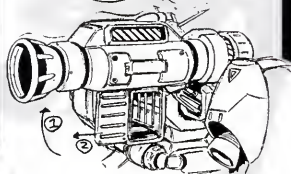
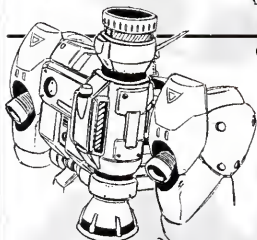
2



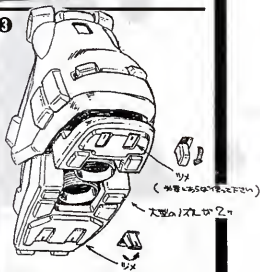
1



4

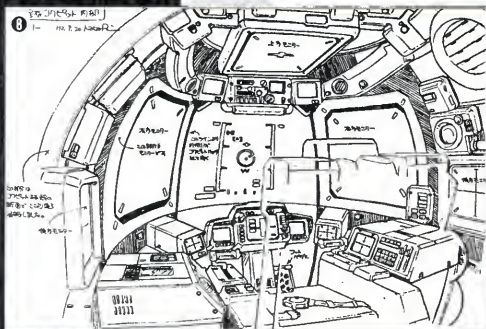
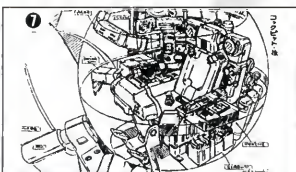
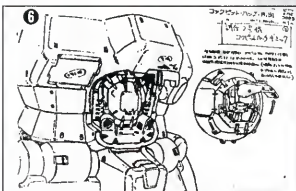
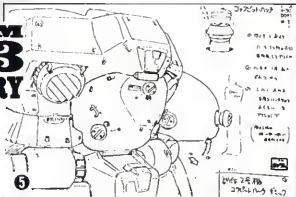


3

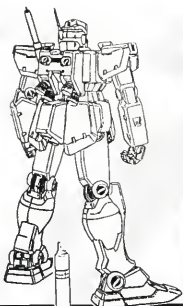


GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

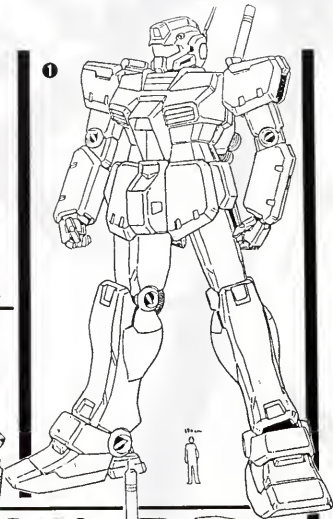
- ① サイド・ヒュウ
- ② フロント・バストUP
- ③ 脚部バーニア部
- ④ 背面・アトミックバズーカ弾
- ⑤ コクピットハッチ・キミック 1
- ⑥ コクピットハッチ・キミック 2
- ⑦ コクピット内部
- ⑧ コクピット内部



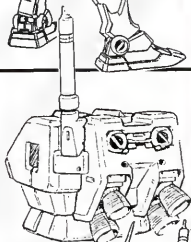
3



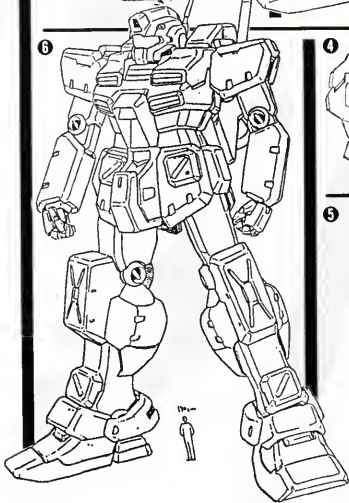
1



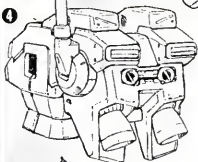
2



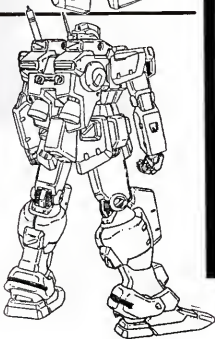
6



4



5



GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

ジム・改 RGM-79

1年戦争後に出現したジムシリーズのバリエーション機の一つ。当時の機体よりは数段パワーアップしている。

- ① フロント・ビュウ
- ② バック・ビュウ
- ③ リア・ビュウ
- ④ バック・ビュウ
- ⑤ リア・ビュウ
- ⑥ フロント・ビュウ
- ⑦ ジム系・コクピットハッチ
- ⑧ ジム系・コクピット塔乗口
- ⑨ バスターカ
- ⑩ マシンガン
- ⑪ シールド

RGM-79C SPEC

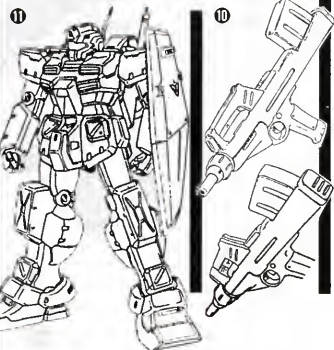
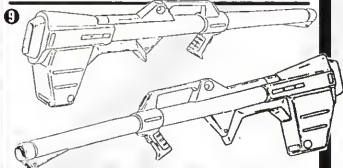
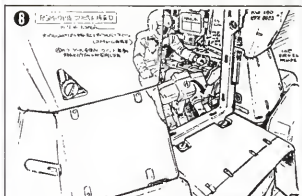
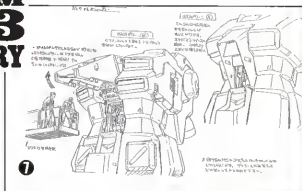
全高/18.0m 総重量/58.8t
ジェネレータ出力/1250KW 主ス
ラスタ-推力/12500kg×2、1870
kg×4 180°姿勢変換/1.6sec
主武装/90mmマシンガン、ビーム
カーヘル、60mmバルカン×2

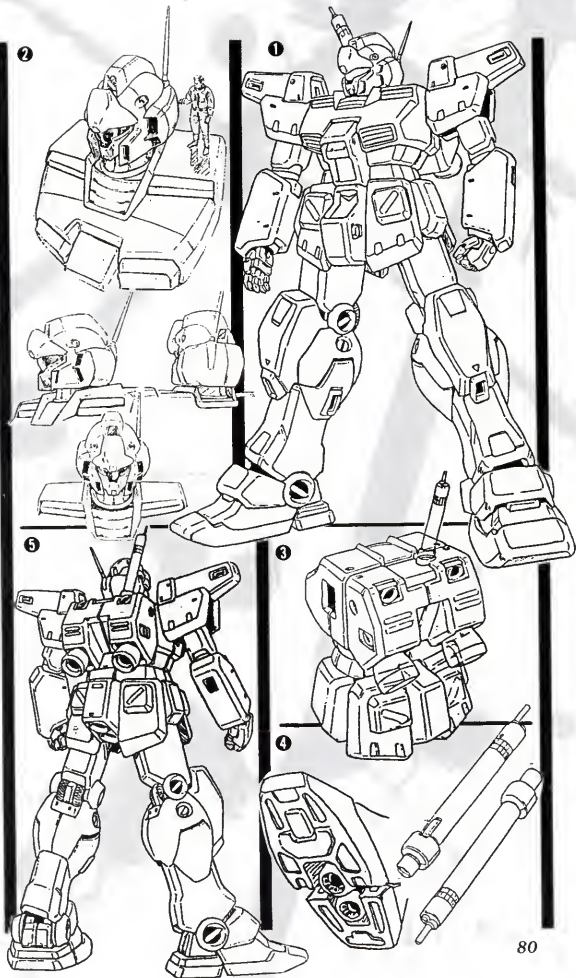
パワード・ジム RGM-79

機体各所にアホジモーター
と推進剤、脚部に新型のショ
ックアブソーバを装備し、機
体の機動、運動性強化を図
ったジム・タイプの実験機。

RGM-79 SPEC

全高/18.0m 総重量/64.2t
ジェネレータ出力/1650KW 主ス
ラスタ-推力/32000kg×2 1870
kg×4 180°姿勢変換/1.6sec
主武装/90mmマシンガン、ビーム
カーヘル、60mmバルカン×2





GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

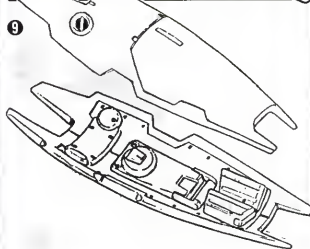
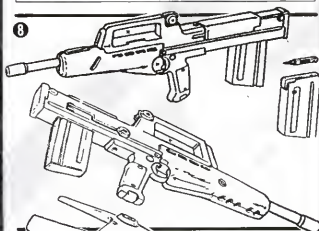
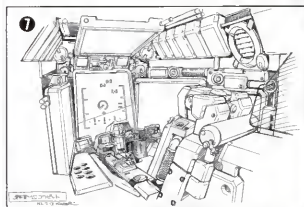
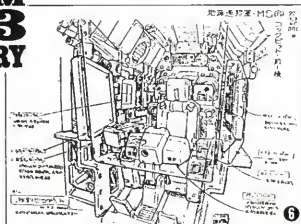
ジム・カスタム RGM-79N

軍備強化のためにトータルバランス的な面で量産機の性能向上が図られ、ジェネレータの出力や各所アホシモーターの強化をおこなわれたジムの改良機。推力はほぼ倍になり、それに合わせて機動、運動性も向上した。おもにエース級のパイロットに優先して機体が回されている。

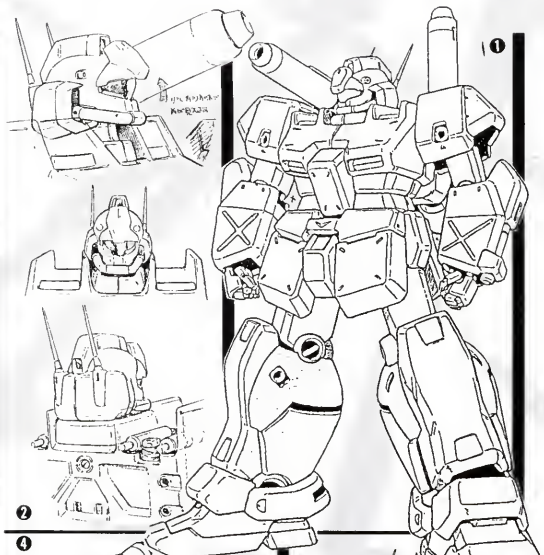
- ① フロント・ビュー
- ② 頭部
- ③ バックパック
- ④ 脚部・裏面、ビームサーベル
- ⑤ リア・ビュー
- ⑥ コクピット
- ⑦ コクピット
- ⑧ ライフル
- ⑨ シールド

RGM-79N SPEC

全高/18.0m 総重量/57.6t
ジェネレータ出力/1420KW 主ス
ラスタ推力/30000kg×2、1870
kg×4 180°姿勢変換/1.5sec
主武装 60mmバールカン×2、ビ
ームサーベル、ジム・ライフル

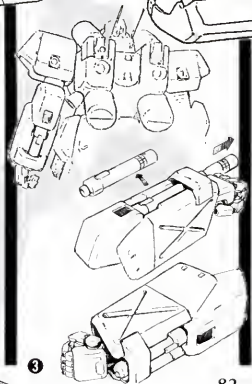
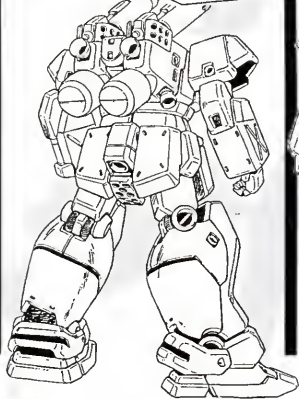


1



2

4



3

GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

ジム・キャノンⅡ RGC-83

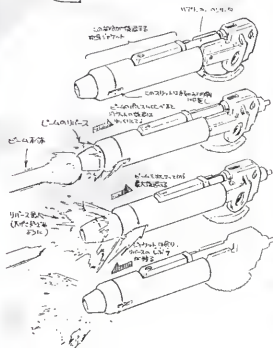
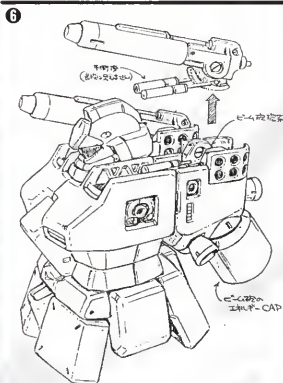
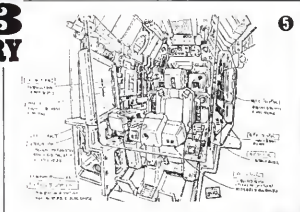
RX 77Dガンキャノン量産型の機体データをフィードバックさせ完成させた中距離支援型のMS。両肩のキャノン砲はビーム・タイプに変わり、腰部に機体を安定させるためのスタビライズド・ギアを備えている。さらに、格闘戦用として左腕にビームサーベルを装備している

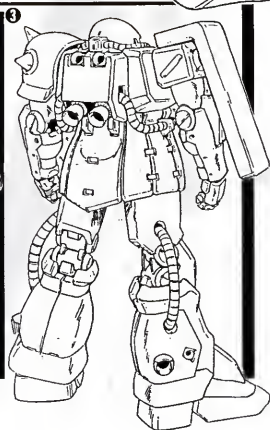
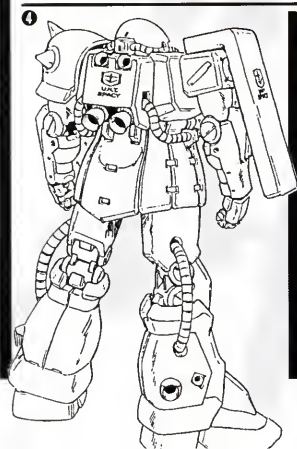
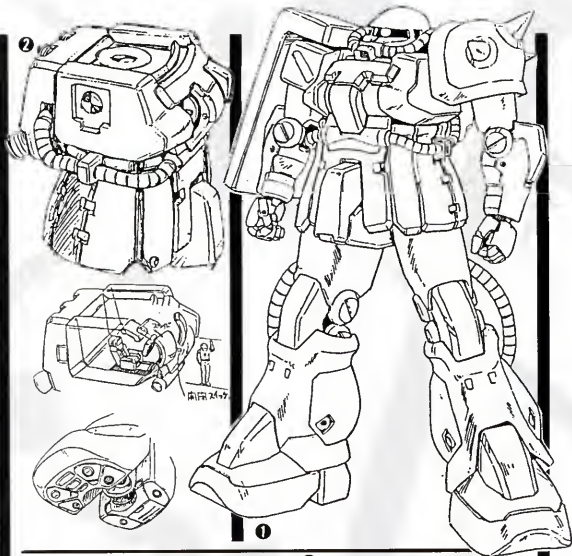
- ①フロントビュー
- ②頭部
- ③ビームサーベルとホルダー
- ④リア・ビュー
- ⑤コクピット
- ⑥ビーム砲

RGC-83 SPEC

全高/18.0m 総重量/56.9t
ジェネレータ出力/1420KW 主ス
ラスタ-推力/13000kg×4、1870
kg×4 180°姿勢変換/1.6sec
主武装/60mmバルカン×2、ビーム
サーベル、ビームキャノン×2、ジ
ム・ライフル

83





GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

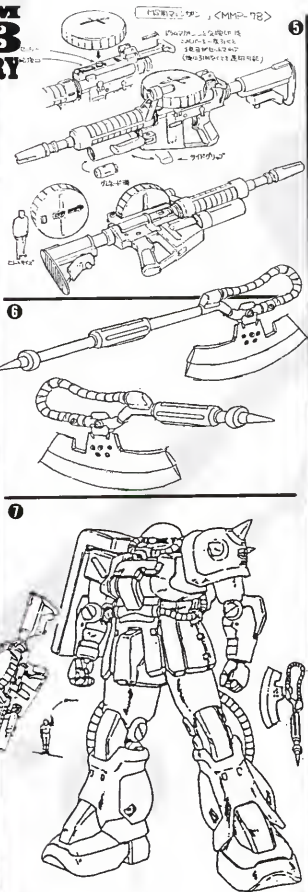
ザクⅡ MS-06FⅡ

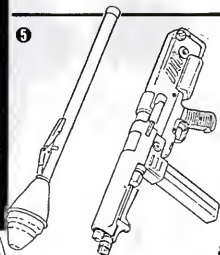
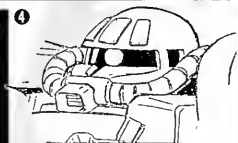
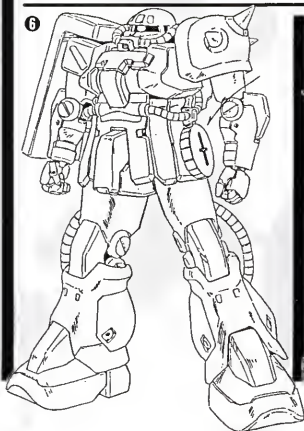
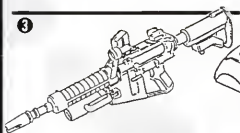
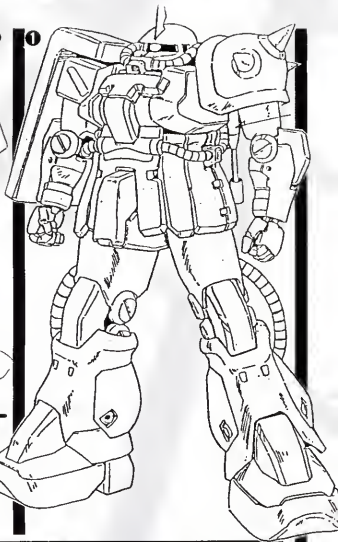
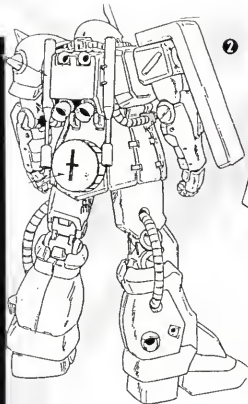
機体の軽量化とジェネレータの出力向上を目的にMS-06FザクⅡを改修した機体。1年戦争終戦協定締結後、多くの機体が連邦軍に接收され、そのまま使用されたケースも多い。また、これらの機体を連邦軍側が再考察し、後にハイザックを生み出すこととなる。

- ①フロント・ビュー
- ②胸部、脚部
- ③リア・ビュー
- ④地球連邦軍仕様
- ⑤MMP-78マシンガン
- ⑥ヒートホーク
- ⑦本体との対比

MS-06F2 SPEC

全高/17.5m 総重量/70.3t
ジェネレータ出力/986KW 主スラスタ推力/20500×2, 3100×4
180°姿勢変換/1.7sec 主武装
120mmマシンガン、ヒートホーク





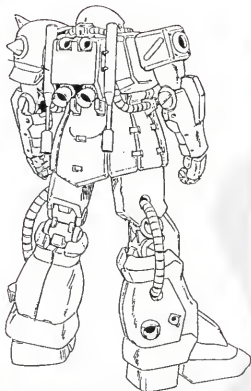
GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

ザクⅡ

(アフリカ戦線仕様)

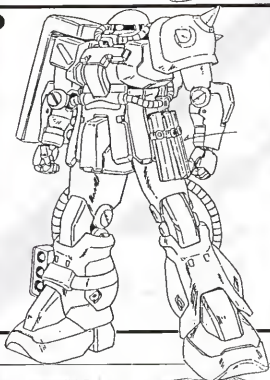
アフリカのダイヤモンド鉱山跡に潜っていた旧ジオン軍残党部隊が使用していた機体。白兵戦を重視し、増加装甲やロケットブースターなどの追加装備のほかに、ロケット弾ホッド、シュツルムファウスト、ハンドグレネードなどの白兵用武装なども装備している。

- ① 指揮官機タイプ
- ② リア・ビュー
- ③ MMP-78
(対空砲弾マガジン装着)
- ④ アフリカアーマー
- ⑤ MMP-80マシンガンとシュツルムファウスト
- ⑥ 一般機
- ⑦ ロケットブースター装着機
- ⑧ ロケット弾ホッド装着機
- ⑨ コクピット

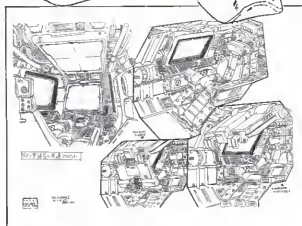


⑦

⑧

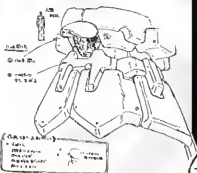


⑨



ザクⅡ(アフリカ戦線仕様)

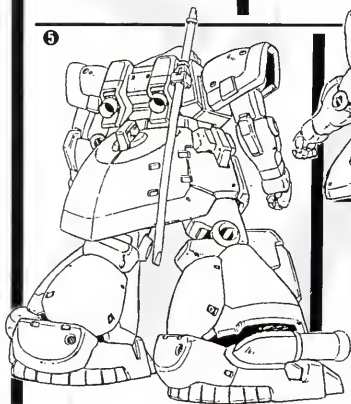
2



1



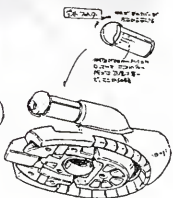
5



3



4



GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

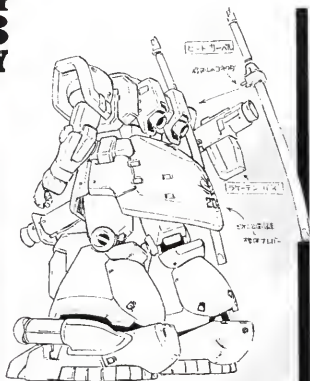
ドム・トロープ MS-09F/TROP

局地戦用に改造されたMS-09ドムのバリエーションのひとつ。宇宙戦用に発展していったMS-09Gと同じく、陸戦用としての高い性能を要求され開発された機体。脚部のスラスタ・インターク部には砂漠戦も考慮したダスト・フィルターが装着されている。

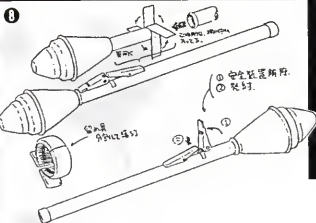
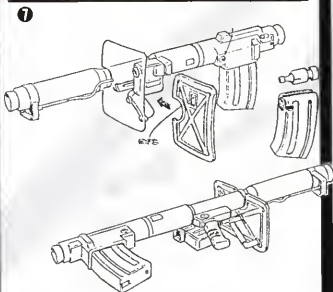
- ①フロント・ヒュウ
- ②胸部・コクピットハッチ
- ③バストUP
- ④脚部・熱核ジェットエンジン
- ⑤リア・ヒュウ
- ⑥ヒートサーベル
- ⑦ラケーテン・バズ
- ⑧シュルム・ファウスト

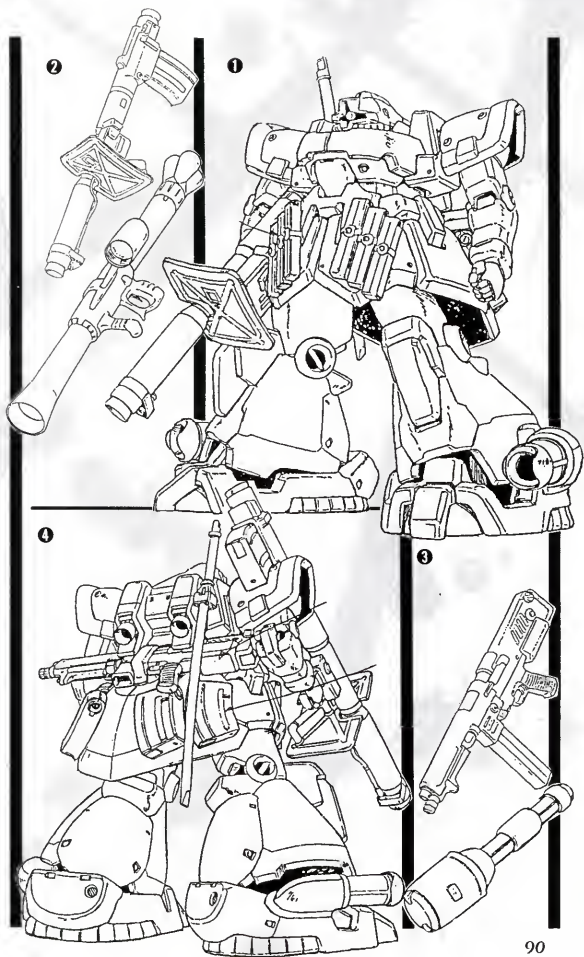
MS-09F/TROP SPEC

全高/18.5m 総重量/79.0t
ジェネレータ出力/1199KW 主スラスタ・推力/22000kg×2、7300kg×2 180°姿勢変換/2.1sec
主武装/ラケーテン・バズ、90mmマシンガン、シュルム・ファウスト、ヒートサーベル



6

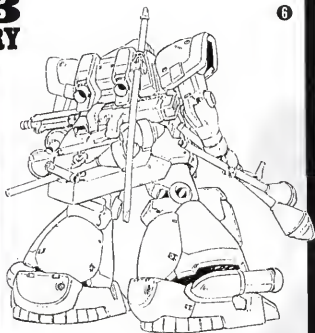




GUNDAM 0083 STAR DUST MEMORY

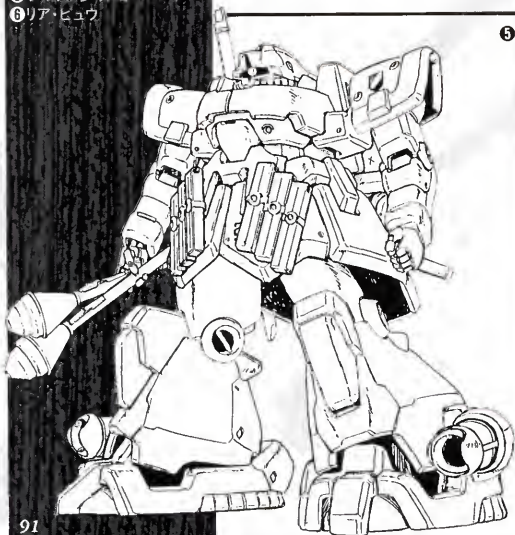
ドム・トロープ (戦術ヴァリエーション) MS-09F/TROP

- ①アタムスキー少尉機・フロント
- ②ラケーテン・バス
& ザクバズーカ
- ③シュゾルム・ファウスト、
マシンガン、ハントグレネード
- ④リア・ヒュウ
- ⑤ゲイリー少尉機・フロント
- ⑥リア・ヒュウ



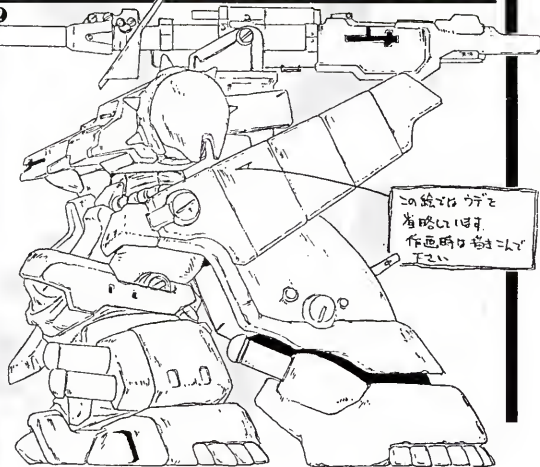
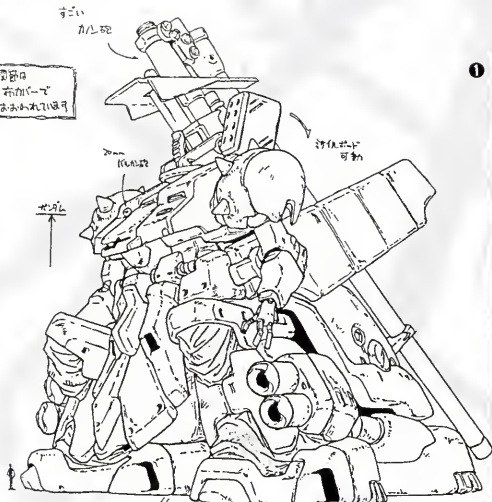
6

5



ドム・トロープ(戦術ヴァリエーション)

関節は
折かばって
あみこられては可



ザメル YMS-16M

1年戦争末期に試作されていた二人乗りの重MS。主武装に折り畳み式68センチカノン砲をもち、長距離支援を任務としている。脚部の強力なスラスターによって高速ホバー移動が可能だが、接近戦用の武装は20ミリバルカン砲以外無く、白兵戦にはほとんど対応できない。

- ①フロント・ビュー
- ②サイド・ビュー
- ③リア・ビュー



砲全体が一連線になって砲身が砲と固定される。



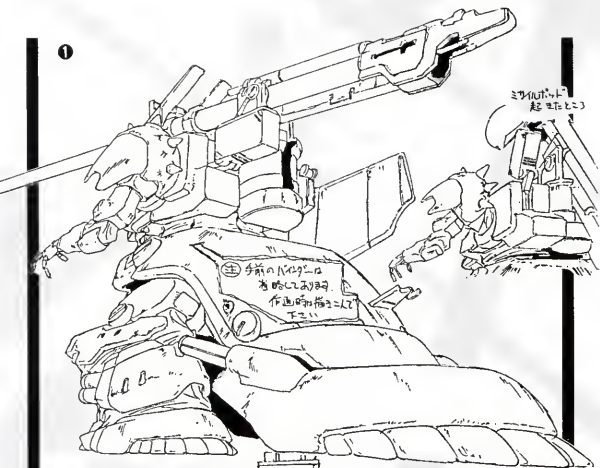
可動と砲全体が、射撃位置まで前方に回転。



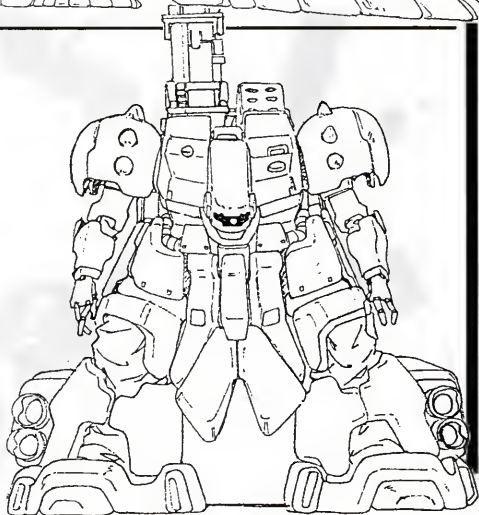
YMS-16M SPEC

全高/27.0m 総重量/121.5t
ジェネレータ出力/1080KW 主スラスター推力/10300kg×6 主武装/8連多断層ミサイルランチャー、68cmカノン砲、20mmバルカン

①

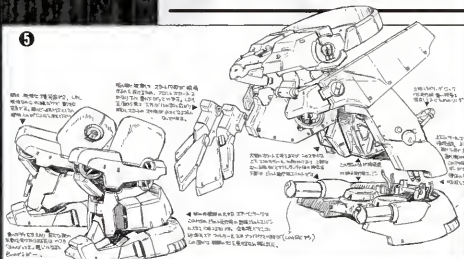
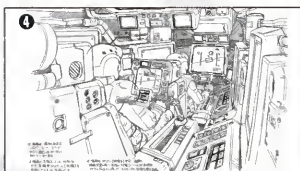
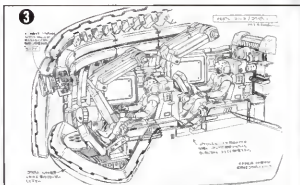
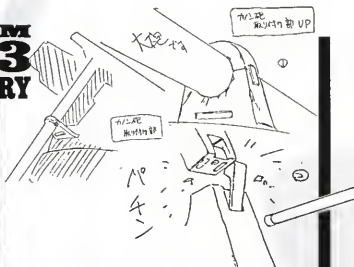


②



GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

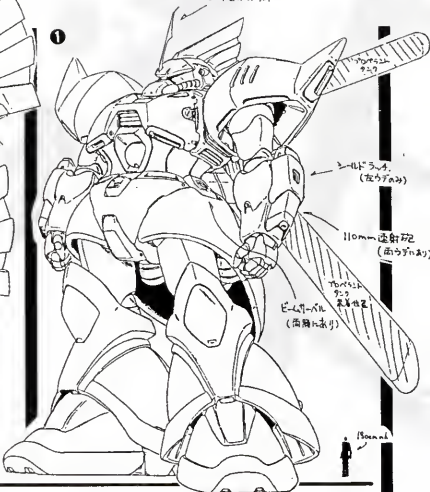
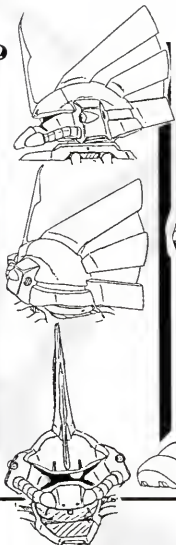
- ① カノン砲・セットアップ状態
- ② フロント・ビュー
- ③ コクピット
- ④ コクピット
- ⑤ パーツ分解図



機体正面の

2

1



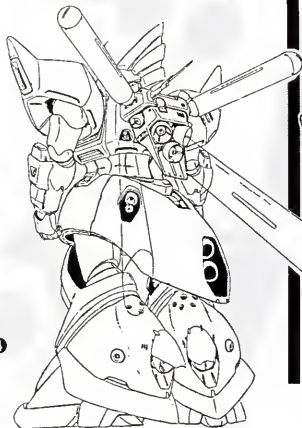
シールドラック
(右ウデのみ)

110mm 遠射砲
(両ウデのみ)

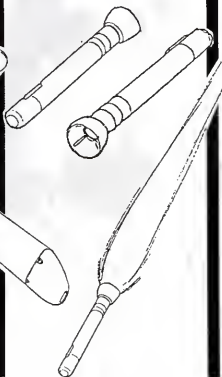
トビヤシ
2つ
装着位置
(両腕にあり)

180mm

6



4



GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

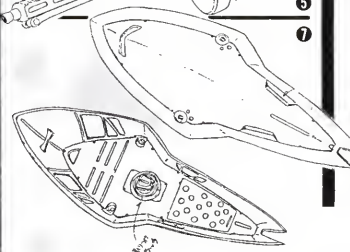
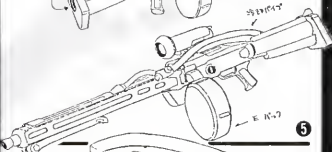
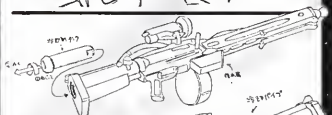
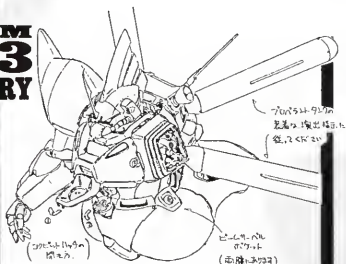
ゲルググ・M (指揮官用機) MS-14Fs

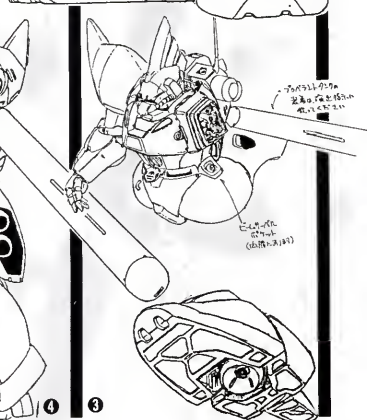
ザンセンバル級巡洋艦、リリーマルレーンを指揮するシーマ・カラハウ中佐の搭乗機。MS-14Fの指揮官専用機で、量産機よりもさらに機動、運動性を強化された機体。また、指揮官用機は量産機と違い頭部にバルカン砲が装備され、ビームライフル、専用シールドも装備している。

- ① フロント・ビュー
- ② 頭部
- ③ コクピットハッチ & アクション
- ④ リア・ビュー
- ⑤ MNG-110ビームライフル
- ⑥ ビームサーベル
- ⑦ シールド

MS-14Fs SPEC

全高/19.2m 総重量/80.0t
ジェネレータ出力/1490KW 主スラスタ-推力/20500kg×3,7000kg×4
180°姿勢変換/1.5sec 主武装/
110mm速射砲×2、ビームサーベル
×2,40mmバルカン×2、ビームライフル



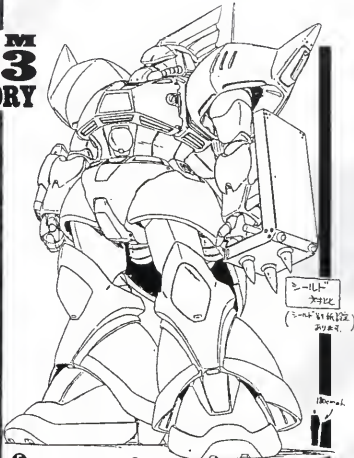


GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

ゲルググ・M MS-14F

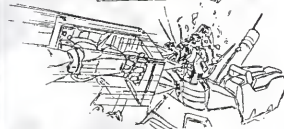
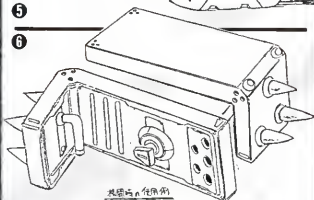
1年戦争末期に開発されたMS-14B高機動型ゲルググから派生した機体。機体の軽量化やプロペラントの増化などの改修を積極的に行っている。また、性能的にはMS-14J Gゲルググイエーガーに劣るものの、コスト的な面で優位に立ち生産台数はこちらの方が多い。

- ①フロント・ビュー
- ②頭部
- ③コクピットハッチ
& 脚部バーニア
- ④リア・ビュー
- ⑤シールド対比
- ⑥シールド
- ⑦マシンガン

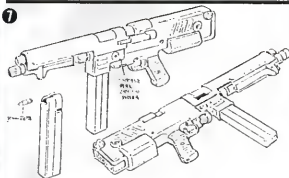


5

6

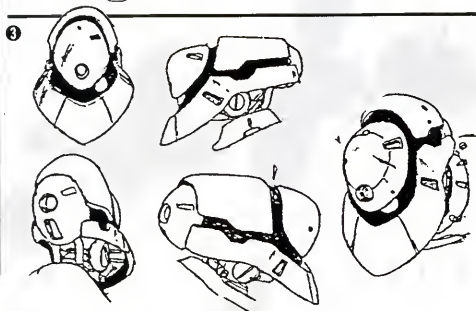
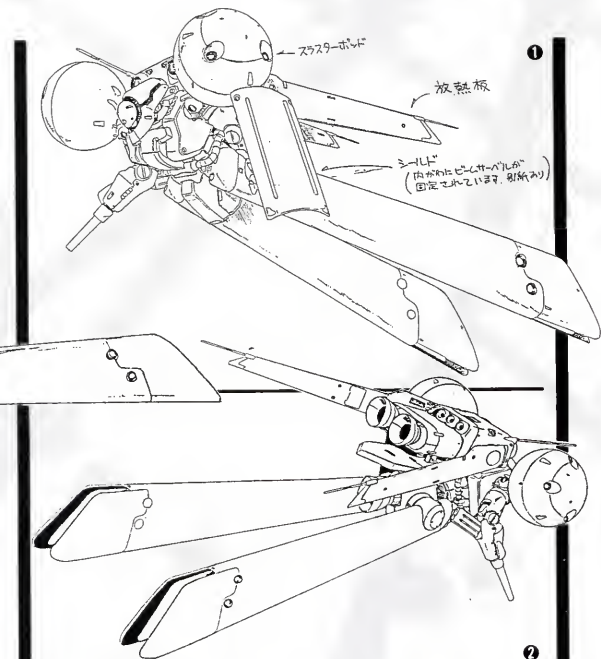


7



MS-14F SPEC

全高/19.2m 総重量/81.3t
ジェネレータ出力/1440KW 主ス
ラスタ推力/20500kg×2、7000kg×2
180°姿勢変換/1.6sec 主武装/
110mm連射砲×2、ビームサーベル
×2、90mmマシンガン



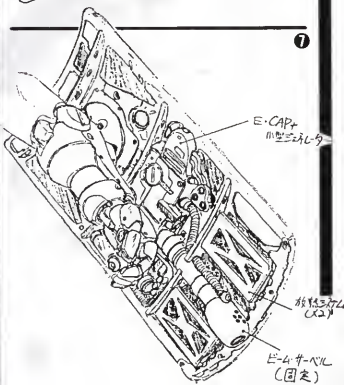
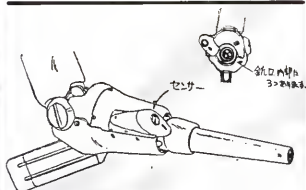
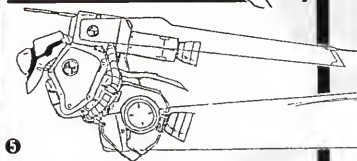
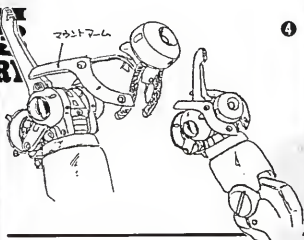


GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

ドラッツェ MS-21C

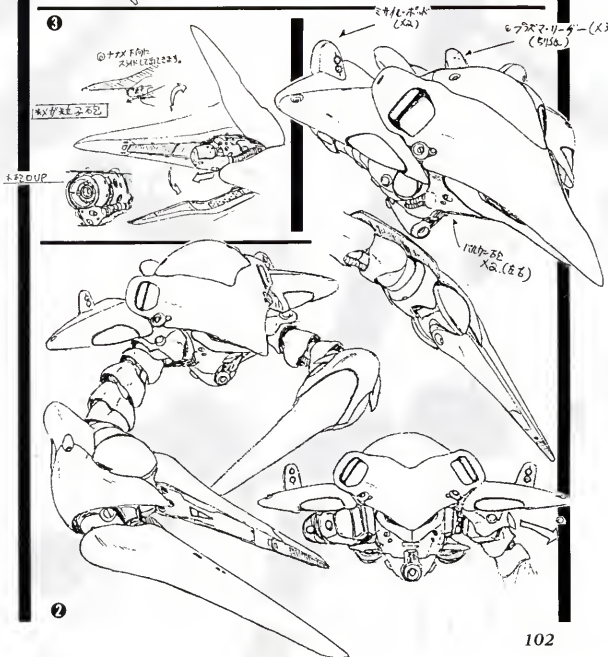
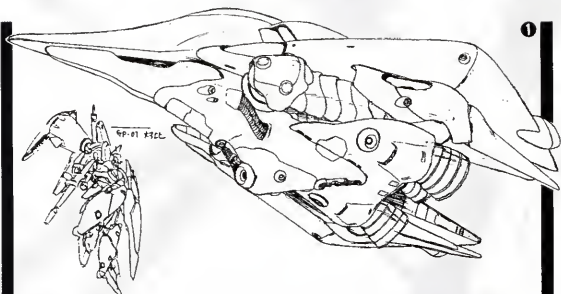
ザクの機体を流用してテラース・フリートが開発した突撃戦用のMS。宇宙空間での機動性を重視し、肩部にスラスタ・ボッドを装備。脚部を排除し大型のプロペラントタンクを設置している。右腕をバルカン砲に換装、左腕のシールド内には固定式のビームサーベルも装備されている。

- ①フロント・ビュー
- ②リア・ビュー
- ③頭部
- ④肩部・スラスタ・ボッドマウント
- ⑤サイド・ビュー
- ⑥右腕・バルカン砲
- ⑦シールド・裏面



MS-21C SPEC

全長/29.8m 総重量/49.0t
ジェネレータ出力/596KW 主スラスタ・推力/28000kg×2, 20500kg×3
主武装/ビームサーベル, 40mmバルカン



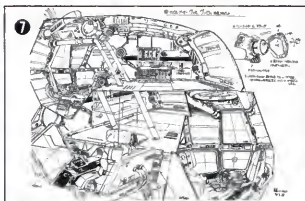
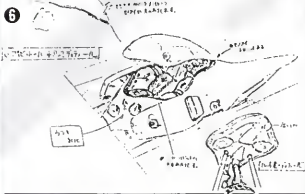
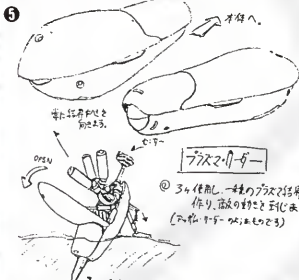
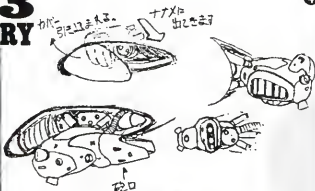
ヴァル・ヴァロ MA-06

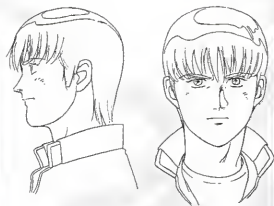
1年戦争時に開発されていたMA。終戦後、ケリィ・レスナーの手によって月のフォン・ブラウン市に秘匿されていた。大型のメガ粒子砲やミサイルポッド、ビームガンやバルカン砲などの重武装のほかに、対MS用の特殊兵器プラズマ・リーダーを装備している。

- ①機体下部
- ②フロント・ヒュー
- ③メガ粒子砲
- ④対空ビーム・ガン
- ⑤プラズマ・リーダー
- ⑥コクピットハッチ周辺
- ⑦コクピット

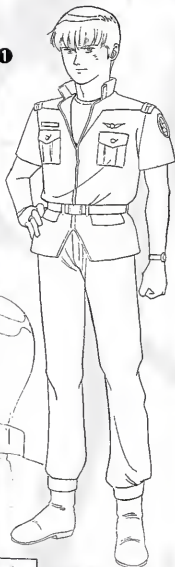
MA-06 SPEC

全長/68.0m 全高/22.5m 全幅/46.0m 総重量/379.8t
ジェネレータ出力/26030KW 主スラスタ推力/184000kg×3、56000kg×3
主武装/大型メガ粒子砲×1、ミサイル・ポッド×2、プラズマ・リーダー×3、ビーム・ガン×2、110mmバルカン砲×4

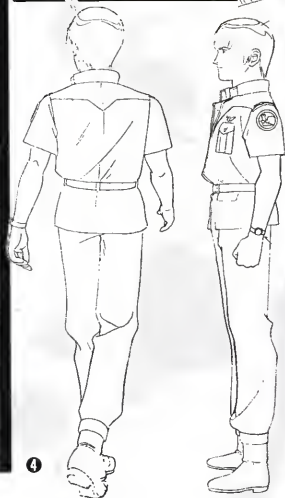




①



②



④



③

肩章位置、
カギの取り付け、(45)

肩章の位置で、
胸元にシワが
入る。

胸元位置

オーストラリア軍
一機長 氏

バック部分 4P時

コウ・ウラキ

地球連邦軍MSパイロット

オーストラリアのトリントン基地に所属していた地球連邦軍少尉 シミュレーションにおける優秀な成績を買われてMSのテストパイロットとなる。シオン残党に奪取されたガンダム試作2号機を奪い返すために、試作1号機に乗り込んだことから、強襲揚陸艦アルビオンのクルーとなる。

- ① 制服・前
- ② 表情集
- ③ 制服・細部設定
- ④ 制服・横、後
- ⑤ ヘルメット
- ⑥ ハイロットスーツ・前
- ⑦ ハイロットスーツ・後



5



このイラストは
「ガンダム0083」
の資料です。

6



7



KOU・URAKI

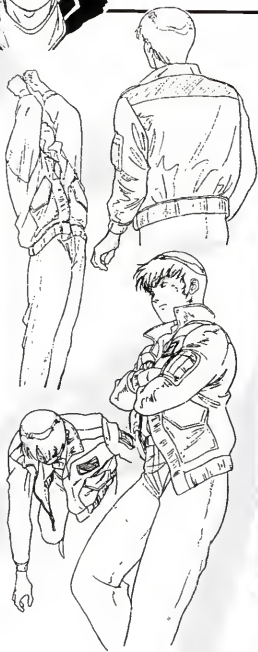
1



2



3





GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY



セーバー
フッパン

運轉員
フッパン

④

- ①表情集・2
- ②フライトジャケット姿
- ③アクション
- ④ノーマルスーツ・前
- ⑤ノーマルスーツ・後
- ⑥ヘルメット



くつ sole

運轉員パイロットスーツ
共通です



ポコポコ上部

⑤



⑥



2



1



3



5



アクリル



4

GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

ニナ・パープルトン

アナハイム社システムエンジニア

アナハイム社のシステムエンジニアで、試作のガンタムのシステム・ソフト開発担当者。試作機の地上での運用評価試験に立ち会うためにアルビオンに随行する。月面生まれの月面育ちという典型的なルナリアンで、気位が高く自分の造ったガンタムに異様な愛情を示している

- ① 制服・前
- ② ハストUP
- ③ 表情集 1
- ④ ブラウス姿
- ⑤ 制服・後
- ⑥ 表情集 2



NINA・PURPLETON

2



1



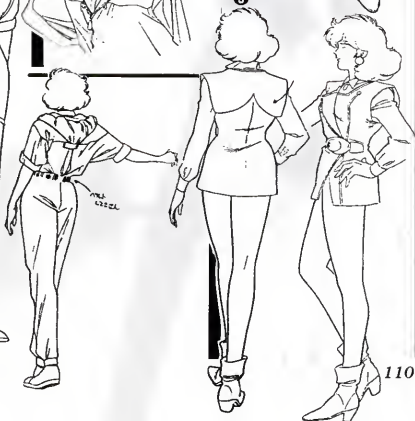
5



4

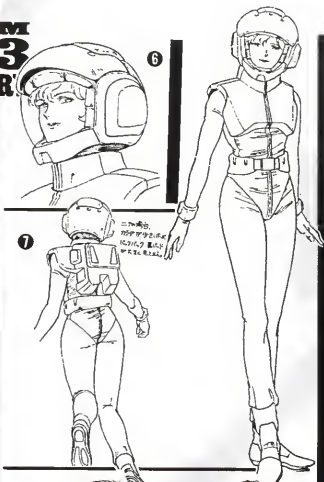


3



GUNDAM 0083 STARDUST MEMOR

- ①新コスチューム・前
- ②アクション
- ③新コスチューム・後、横
- ④作業服・バストUP
- ⑤作業服(ツナギ)
- ⑥ヘルメット
- ⑦ノーマルスーツ
- ⑧ドレス



NINA・PURPLETON

①



④



112

②



③



ブライアン
・キース 用ヘルメット

全長210mm
幅180mm
高さ110mm



⑤



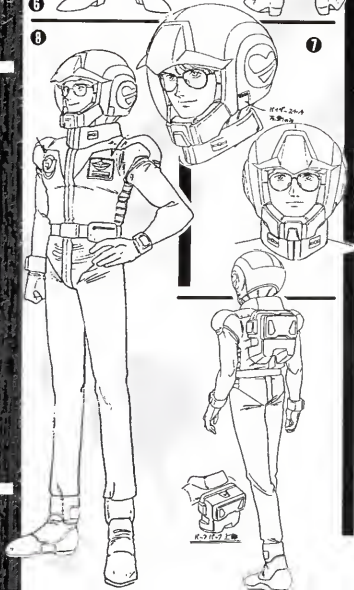
GUNDAM 0083 STAR DUST MEMORY

チャック・キース

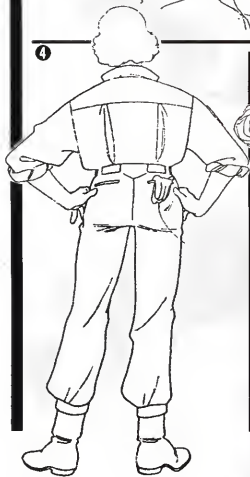
地球連邦軍MSパイロット

地球連邦軍少尉 コウの幼なじみにして親友で、ともにMSテストパイロットとしてトリントン基地に配属された。陽気で明るいお調子者だが、意外に素直な性格である。奪取されたガンダム試作2号機の奪回作戦にコウが志願したため、つき合っテアルビオンに乗船することとなる。

- ① 制服・前
- ② 表情集
- ③ バストUP
- ④ アンダーシャツ
& フライトジャケット
- ⑤ 制服・後
- ⑥ 私服
- ⑦ ヘルメット
- ⑧ ノーマルスーツ



CHACK・KEITH



この服装は飛行スーツ
の仕様です



この服装は

飛行服
(正装のみ)

GUNDAM 0083 STAR DUST MEMORY

モーラ・バシット

地球連邦軍チーフメカニックマン

地球連邦軍中尉。南米の連邦軍基地ジャブロー所属のメカニックマンであったが、試作ガンダムの整備士長の任を受け、アルビオンに乗艦している。威勢がよく頑固な性格の女性士官。面倒見もよく、仕事以外でもニナやコウの相談役となるお姉さんタイプのキャラクター。

- ①整備員服・前
- ②表情集
- ③アクション
- ④整備員服・後
- ⑤私服
- ⑥ノーマルスーツ



MAULA・BASHIT

2



1



4



3

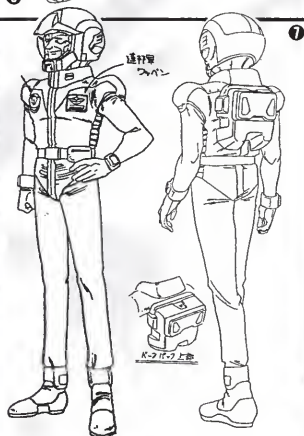


サウス・バニング

地球連邦軍MSパイロット

地球連邦軍大尉。オーストラリアのトリントン基地にてコウたちを指揮しながら、量産型MS用の新型装備の性能評価試験を行っていた。いわゆる歴戦の戦士といったMSパイロットで、コウやキースという新米パイロットの教官でもあった。アルビオン乗艦後はMS部隊の指揮をとる

- ① 制服・前
- ② 表情集
- ③ フライトジャケット
& アンダーシャツ
- ④ 制服・後
- ⑤ 入院姿と松葉杖
- ⑥ ヘルメット
- ⑦ ノーマルスーツ



SOUTH・BURNING

2



1



4



3



ベルナルド・モンシア

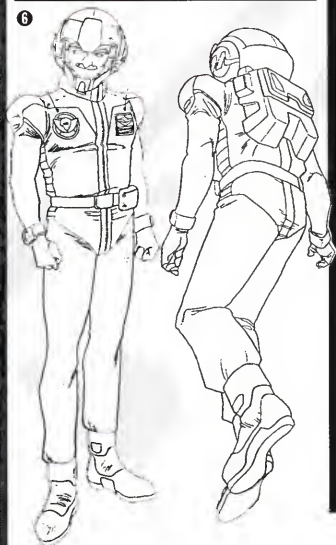
地球連邦軍MSパイロット

地球連邦軍中尉 トリントン
基地にて奪取されたガンダム
試作2号機の奪回作戦につい
たアルビオンに、補充要員と
してやってきたMSパイロッ
トの一人。熟練パイロットで
はあるが自信過剰でプライ
ドが高い軍人。ガンダム試
作1号機のパイロットをめぐ
ってコウと対立する。

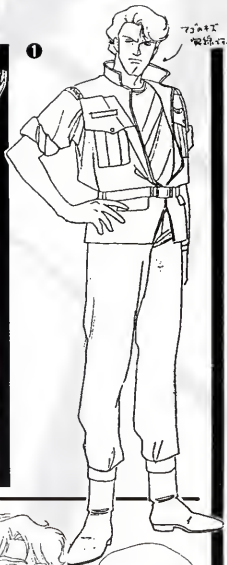
- ① 制服・前
- ② 表情集1
- ③ フライトジャケット
& ウィスキーホル
- ④ 制服・後
- ⑤ 表情集2
- ⑥ ノーマルスーツ



5



6



6



5



アルファ・A・バイト

地球連邦軍MSパイロット

地球連邦軍中尉 モンシアと同じく補充要員としてアルビオンに転属してきたMSパイロット。モンシアほどではないが、熟練パイロットとしての高慢さを持ち、コワヤコバ、モーラに対して風当たりが強い。

- ①制服・前
- ②表情集1
- ③ノーマルスーツ
- ④表情集2

チャップ・アデル

地球連邦軍MSパイロット

地球連邦軍少尉 アルビオンに配属されたMSパイロット補充要員の一人。モンシア、バイトら三人の中では一番穏和な性格をしており、とくに熱くなるモンシアのなため役的な存在である。

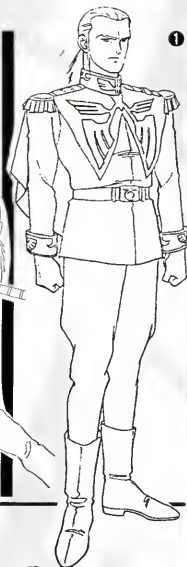
- ⑤表情集
- ⑥制服・前
- ⑦ノーマルスーツ

**ALPHA・A・BAIT
CHAP・ADEL**





2



1



4



3





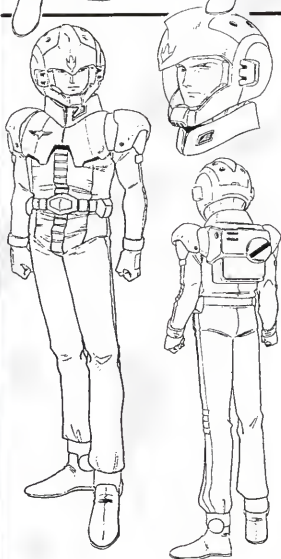
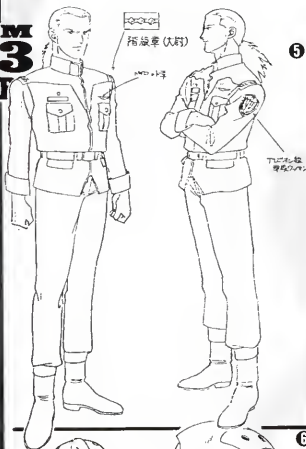
GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

アナベル・ガトー

デラース軍MSパイロット

デラース軍少佐 もとジオン公国宇宙攻撃軍に所属し、サビ家の親衛隊員を務めたこともあるエリート軍人。1年戦争時は連邦の兵士に「ソロモンの悪夢」と恐れられたエースパイロット。命を救われたデラースに忠誠を誓い、ジオン復興のためにガンダム試作2号機を奪取する。

- ① 制服・前
- ② 表情集
- ③ アクション & バストUP
- ④ 制服・後
- ⑤ 連邦軍制服姿
- ⑥ ノーマルスーツ





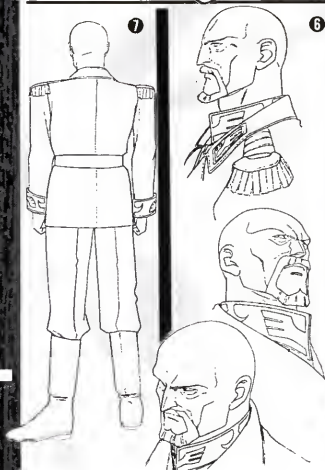
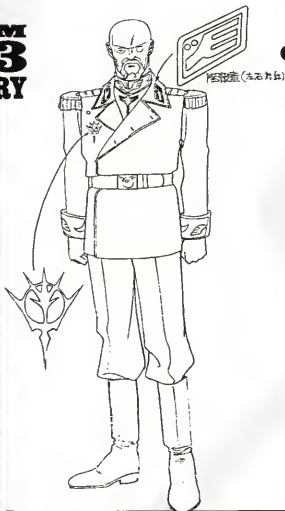
GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

エギーユ・デラーズ

デラーズ軍総帥

デラーズ軍中將。シオン再興を掲げて残存兵力を集め、地球連邦軍にたいし宣戦を布告したデラーズ・フリートの総帥。1年戦争において、シオン軍の最終要塞で、バオア・クーにて戦死したサビ家の長男、キレン・サヒの執狂的な親派で、スペースノイトの自治権を主張する。

- ① 制服・前
- ② 表情集
- ③ 襟章・袖章
- ④ 制服・後
- ⑤ 大佐時の制服・前
- ⑥ 表情集
- ⑦ 大佐時の制服・後



AGUILLE・DELAZ



③

④

CIMA GARAHU

※ コスチュームは豪華な装飾が
あふれる。
着ているとロマンチックな
イメージが湧く。

○ 襟
× 袖
「襟は、アブ
ビームで縫って
下がる」
「右肩、左肩
に装飾がある」



・左肩の装飾
「装飾がある」
・右肩の装飾
「装飾がある」



④ 衣装



「肩の装飾は、アブ
ビームで縫って
下がる」
「右肩、左肩
に装飾がある」



「右肩
の装飾」
（衣装）



「右
肩の装飾」
（衣装）

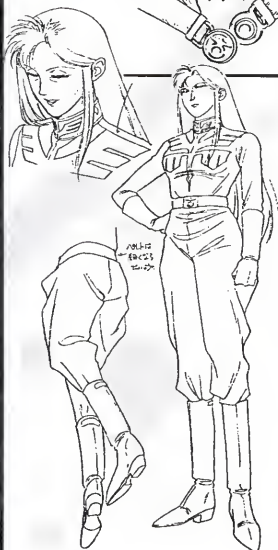
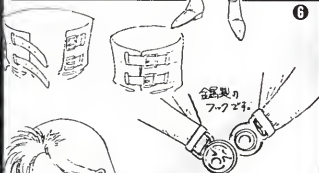
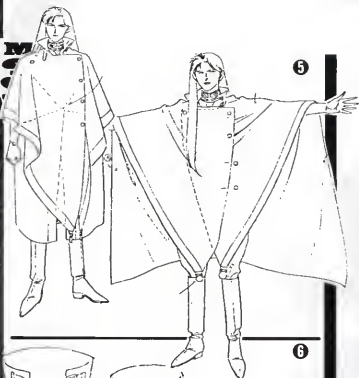
1995.12
1996.10

シーマ・ガラハウ

テラース軍MSパイロット

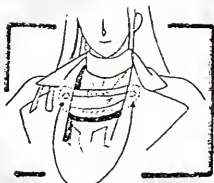
テラース軍中佐。テラースの右腕でもあったカトーが、ガンダム奪取のために地球に降りている間に呼び寄せられた女傑。MSパイロットとしての腕も超一流で、ゲルググの専用機を駆り、2号機奪回のために宇宙にあがってきたアルビオンや、コウの乗るガンダム1号機を向かえ討つ

- ①制服・前
- ②バストUP
- ③制服・後
- ④表情集
- ⑤ボンチ型型マン
- ⑥マントの金具
- ⑦マントの下の服装



CIMA・GARAHAU

①



内側のボタンは
開けよう。

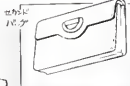
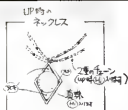
③



②



④

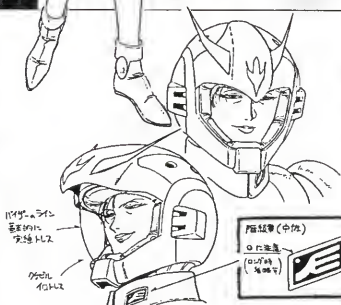


GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

- ①シーマの持つ扇
- ②私服姿・前
- ③バストUP & サングラス
- ④私服姿・後 & 小物
- ⑤ノーマルスーツ・前
- ⑥ヘルメット
- ⑦ノーマルスーツ・後



⑥



面装飾(中性)

0に近接
(ロング時
5分間)



面装

メソノ部分の
位置 角度
この絵を基準に
して決まっている



3



1



2



5



4



ケリィ・レスナー

元ジオン軍MSパイロット

もとジオン軍のMSパイロット。終戦とともに退役し、月のフォン・ブラウンにてジャンク屋を開いていた。戦争によって左腕を失ったが、戦士としての魂は燃え尽きておらず、秘匿していたMAヴァル・ヴァロを駆使してガンダムに挑む。

- ①私服姿・前
- ②表情集
- ③私服姿・後
- ④ジャンパー姿
- ⑤ノーマルスーツ

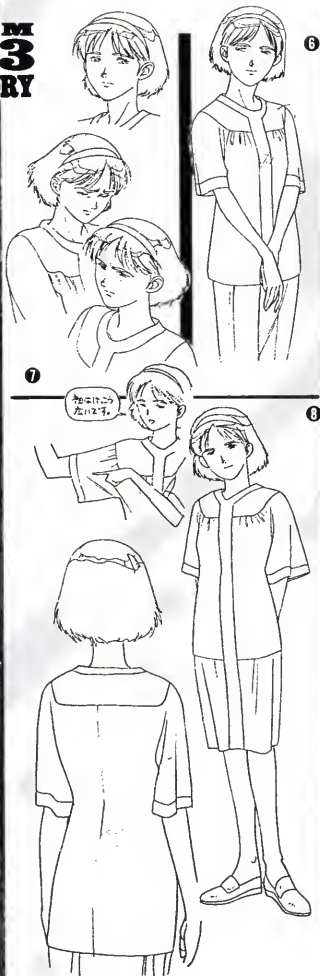
ラトゥーラ・チャプラ

ケリィの恋人

ケリィ・レスナーの恋人で、押し掛け女房的なキャラクター。ケリィが再び戦火へとおもむくことを必死に止めようとする。

- ⑥私服
- ⑦表情集
- ⑧コスチューム設定

KELLEY・LAYZNER
LATUERA・CHAPRA





2

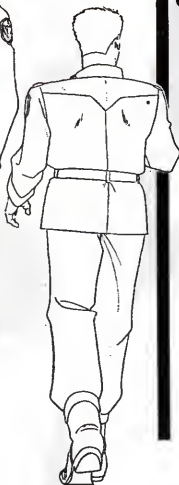


1

5



4



GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

エイパー・シナプス

地球連邦軍揚陸艦アルビオン艦長

地球連邦軍大佐。強襲揚陸艦アルビオンの艦長であり、デラース軍のカトーに奪取された、ガンダム試作2号機奪回作戦の指揮をとる

- ①アクション
- ②表情集
- ③制服姿

イワン・バサロフ

アルビオン操舵士

地球連邦軍大尉。強襲揚陸艦アルビオンの操舵士。非常に無口な男。

- ④表情集
- ⑤制服姿

ウィリアム・モーリス

アルビオン通信士

地球連邦軍少尉。アルビオンの通信士。艦橋クルーの中では、間の悪い軍人である。

- ⑥表情集
- ⑦制服姿

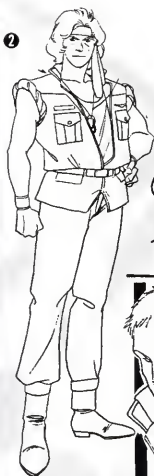
EYPHAR・SINAPUS

IVAN・BASROF

WILLIAM・MAURIS



2



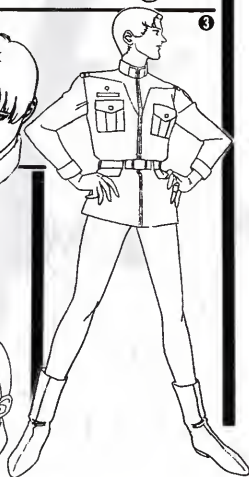
1



4



3



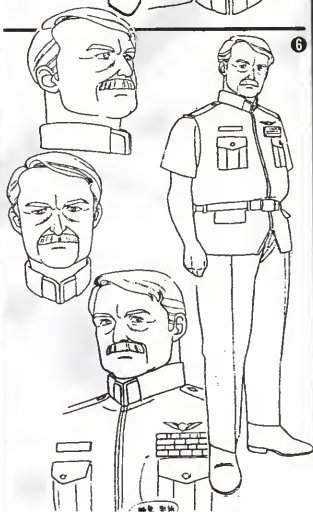
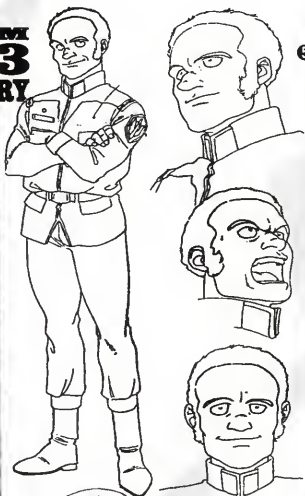
GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

地球連邦軍関係者

コウらとともにMSのテストを行っていたアレン中尉とカークス少尉は、ガトーたちの強襲において戦死。トリントン基地司令マーネリ准将もまた戦死している。アルビオンのクルーとしては、ブリッジの凸凹コンビ、オペレーターのシモン軍曹とスコット軍曹。ハリタ中尉は航法士である。

- ① MSテストパイロット
・ディック・アレン
- ② MSテストパイロット
・ラバン・カークス
- ③ アルビオンオペレーター
・ジャクリーヌ・シモン
- ④ アルビオンオペレーター
・ピーター・スコット
- ⑤ アルビオン航法士
・アクラム・ハリダ
- ⑥ トリントン基地司令官
・マーネリ准将

DICK・ALLEN
RABAN・KARCS
JACQUELINE・SIMON
PEATAR・SCOTT
ACLAM・HALIDDA
R・MARNERY



GUNDAM 0083 STAR DUST MEMORY

アナハイム関係者

アナハイム社の面々としては、ニナの親友で恋愛の相談役？ ボーラ。メカマンとしてアルビオンに乗船したものの、実はデラーズのスパイだったオービル。美人の友人はやはり美人だったニナの同僚たち。デラーズとの関わりをもっていたオサリバン常務に保守的な課長さん。

- ①ボーラ・ギリッシュ
- ②メカニックマン
ニック・オービル
- ③ニナやボーラの同僚たち
- ④オサリバン常務
- ⑤ニナの上司(課長)



PORAL・GULLISH
NICK・AUBIL
ANNAHIME・STAFF
ORSARYVAN



2



1



4



3



GUNDAM 0083 STARDUST MEMORY

デラース軍関係者

デラース軍関係者として登場した主な人物は、異色MSザメルのパイロットボブ中尉。ユーコン艦長ドライゼ中佐。ダイヤモンド鉱山跡基地司令ビッター少将とその副官ヴァール大尉。シーマ艦隊の副官、コッセル大尉とヴァル・ヴァロのパイロットとなる予定だったクルト中尉。

- ①MSパイロット・ボブ
- ②ユーコン艦長・ドライゼ
- ③ノイエン・ビッター
- ④ビッターの副官・
ウォルフガング・ヴァール
- ⑤シーマの副官・
デトラーフ・コッセル
- ⑥シーマの部下・クルト



**BOB
DORIZE
NEUEN・BITTER
WOLFGUNG・WALL
DEATROAF・KOCSEL
KULT**

ブラズマ・リーダー	64,
フルバーニアン	64,
リリー・マルレーン	64,
ルナリアン	64,
レーザー推進システム	64,
連邦軍ノーマルスーツ	30,
ロケットブースター	64,
ワン・コントロール・スティック	64,

宇宙艦

アルピオン	24,
グワデン	2, 3, 25,
サラミス級宇宙巡洋艦	24,
ムサイ級宇宙巡洋艦	25,
リリー・マルレーン	25,

ニナ・パープルトン	26, 108, 109, 110, 111,
ノイエン・ビッター	138, 139,

八行

ピーター・スコット	29, 134, 135,
ベルナルド・モンシア	28, 118, 119,
ポーラ・ギリッシュ	136, 137,
ボブ	32, 138, 139,

マ行

マーネリ准将	134, 135,
モーラ・バシット	27, 114, 115,

ラ行

ラトーラ・チャプラー	130, 131,
ラバン・カークス	29, 134, 135,

用語

アクティブスラスターユニット	44,
アナハイム・エレクトロニクス社	34, 44,
茨の園	44,
H L V	56,
キンバライド鉱山基地	44,
コアブロックシステム	44,
コムサイ	44,
ショックアブソーバー	50,
戦術核	50,
デラーズ軍制服	32,
デラーズ軍ノーマルスーツ	32,
デラーズ・フリート	50, 56,
トリントン基地	50,
ブースターポッド	50,
フォン・ブラウン市	50,

アダムスキー	32,
アクラム・ハリダ	29, 134, 135,
アナハイムの課長	136, 137,
アナベル・ガトー	30, 122, 123,
アルファ・A・ベイト	28, 120, 121,
イワン・バサロフ	28, 132, 133,
ウィリアム・モーリス	29, 132, 133,
ウィリー・グラドール	31,
ヴォルフガング・ヴァール	138, 139,
エイパー・シナプス	27, 132, 133,
エギーユ・デラーズ	30, 56, 124, 125,
オサリバン 常務	136, 137,

カ行

クルト	138, 139,
ゲイリー	32,
ケリィ・レズナー	130, 131,
コウ・ウラキ	26, 104, 105, 106, 107,

サ行

サウス・バニング	27, 116, 117,
シーマ・ガラハウ	31, 126, 127, 128, 129,
ジャクリーヌ・シモン	29, 134, 135,

タ行

チャック・キース	27, 112, 113,
チャップ・アデル	8, 120, 121,
ディック・アレン	29, 134, 135,
デトローフ・コッセル	31, 138, 139,
ドライゼ	139, 138,

ナ行

ニック・オービル	30, 136, 137,
ニナの同僚	136, 137,

MS大図鑑PART.6「デラース紛争編」

索引

●OVA「機動戦士ガンダム0083 STARDUST MEMORY」に登場した主要MS・MA及びキャラクター、宇宙艦、主要用語をアルファベット・50音順にまとめました。見出しの単語を選び、記されているページを見て下さい。その単語の解説、あるいは関連する事項がわかるようになっています。

MS&MA

RX-78GP01	ガンダム試作1号機	4, 5, 6, 7, 8, 9, 12, 34, 35, 66, 67,
RX-78GP02A	ガンダム試作2号機	4, 5, 14, 34, 35, 74, 75,
RX-78GP01-Fb	ガンダム試作1号機(宇宙仕様)	10, 11, 13, 34, 35, 70, 71, 72,
RGM-79	バワード・ジム	16, 34, 35, 78, 79,
RGM-79N	ジム・カスタム	17, 34, 35, 80, 81,
RGM-79C	ジム改	4, 5, 15, 34, 35, 78, 79,
RGM-83	ジム・キャノンII	18, 34, 35, 82, 83,
FF-XII	コアファイターII	24, 68, 69,
FF-XII-Fb	コアファイターII(宇宙仕様)	24, 73,
MS-06F2	ザクII	6, 7, 19, 36, 37, 84, 85, 86, 87,
MS-09F/TROP	ドム・トローベン	6, 7, 20, 36, 37, 88, 89, 90, 91,
MS-14F	ゲルググM	22, 36, 37, 98, 99,
MS-14Fs	ゲルググM(指揮官用)	8, 9, 22, 36, 37, 96, 97,
MS-21C	ドラッツェ	23, 36, 37, 100, 101,
YMS-16M	ザメル	21, 36, 37, 92, 93, 94, 95,
MA-06	ヴァル・ヴァロ	10, 11, 36, 37, 102, 103,

キャラクター

ア行

STAFF

企 画

株式会社メディアワークス
第4編集部・書籍編集課（安藤利明）

構成・編集

仲 童 舎
井 上 徹
渡辺利浩

装 丁

タケモトアツシ（t-DESIGN LAB.）

カバーイラスト

As'mariあ

デザイン

仲 童 舎
シイバミツヲ&ケンジ

協 力

株式会社サンライズ（井上幸一）

宇宙世紀ボックス 機動戦士ガンダムMS大図鑑 PART.6【デラズ紛争編<上>】

CONTENTS

MS戦史 MS War History	2
MS名鑑 MS Catalogue	12
メカニック名鑑 Machanic Catalogue	24
キャラクター名鑑 Character Catalogue	26
MS開発史 MS Development History	33
MS性能比較表 An ability Symmetry of MS	45
ガンダム・オフィシャル・レポート GUNDAM Official Report	51
設定資料集 Design Collection	65
モビルスーツ Mobile Suit	66
キャラクター Character	104
MS用語辞典 MS Glossary	44, 50, 64
索引 Index	140

※本書は1992年2月に株式会社バンダイ・出版課より発行されたエンターテインメントバイブル・シリーズ「機動戦士ガンダム MS大図鑑Part6【デラズ紛争編<上>】」を復刻した物です。文章・データに2005年現在と合致しない部分がございますが、原書のままですのでご容赦下さい。

※ご協力いただいた方々の所属は発行当時のまま記載しております。

発 行 2005年3月20日 初版発行

発行者 佐藤辰男

発行所 株式会社メディアワークス
〒101-8305 東京都千代田区神田駿河台1-8東京YWCA会館
TEL03-5281-5243(編集)

発売元 株式会社角川書店
〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3
TEL03-3238-8605(営業)

印刷所 共同印刷株式会社

落丁・乱丁本はお取り替えます。

分売不可

Printed in Japan

〔R〕本書の全部または一部を無断で複製(コピー)することは、著作権法上の例外を除き、禁じられています。本書からの複製を希望される場合は、日本複写権センター(03-3401-2382)にご連絡下さい。

MS ENCYCLOPEDIA

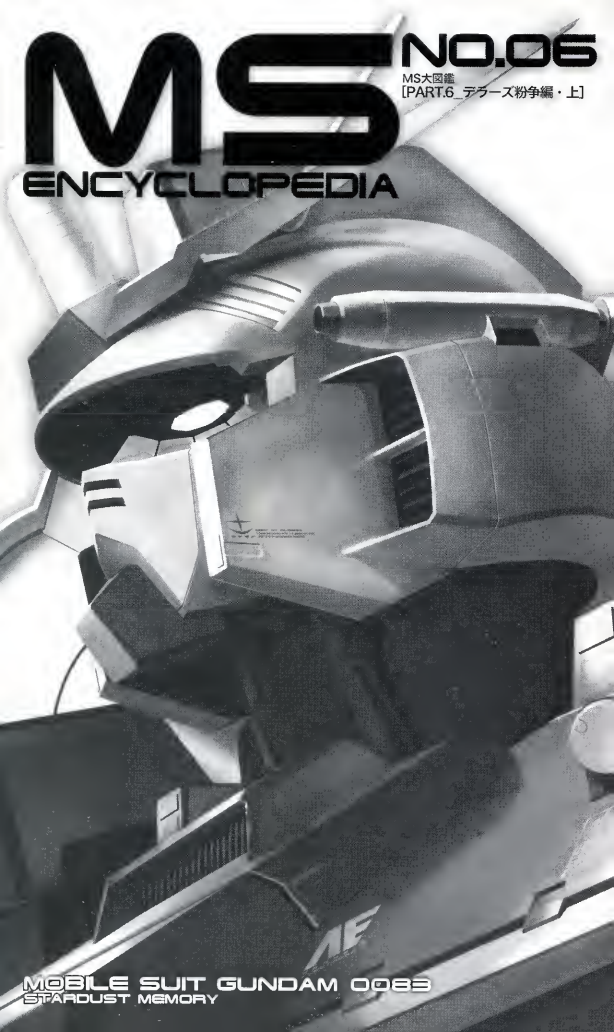
NO.06

MS大図鑑
[PART.6 デラーズ紛争編・上]

MOBILE SUIT GUNDAM 0083
STAR DUST MEMORY

AE

MS ENCYCLOPEDIA



NO.06

MS大図鑑

[PART.6 デラーズ紛争編・上]

MOBILE SUIT GUNDAM 0083
STARDUST MEMORY

MS NO.06 ENCYCLOPEDIA

.....

MOBILE SUIT GUNDAM 0083
STAR DUST MEMORY

MS NO.06 ENCYCLOPEDIA

.....

MOBILE SUIT GUNDAM 0083
STARDUST MEMORY

MS-DOS 5.0 FOR PC

MS-DOS 5.0 FOR PC
[P]ART 1
[H]AND-BOOK
[T]RANSLATION

No. 06

